



Q 専門領域について選択してください。

1. 消化器内科



2. 消化器外科



3. 放射線科

0%

4. その他の医師

0%

5. その他(医師以外)



# 症例1

# 55歳、男性

## 【主訴】上腹部痛

【現病歴】20xx年 アルコール性膵炎で入院。その後、近医でフォローされる、禁酒はせず。20xx+3年 上腹部痛を自覚し、CT検査で慢性膵炎と診断。入院し、点滴加療と禁酒を行い、症状が軽快し一旦は経過観察となる。しかし、その後再度、慢性膵炎に伴う上腹部痛が出現するため、慢性膵炎に対する内視鏡的治療目的に紹介受診となる。

【既往歴】胃潰瘍 【家族歴】なし

【生活歴】喫煙：20歳ごろより15から20本/日

飲酒：20歳ごろより日本酒750ml/日

## 【身体所見】

身長：163.5cm 体重：53.2kg BMI：19.9

体温：36.9℃ 血圧：117/62mmHg 脈拍：62回/分 SpO2：97%

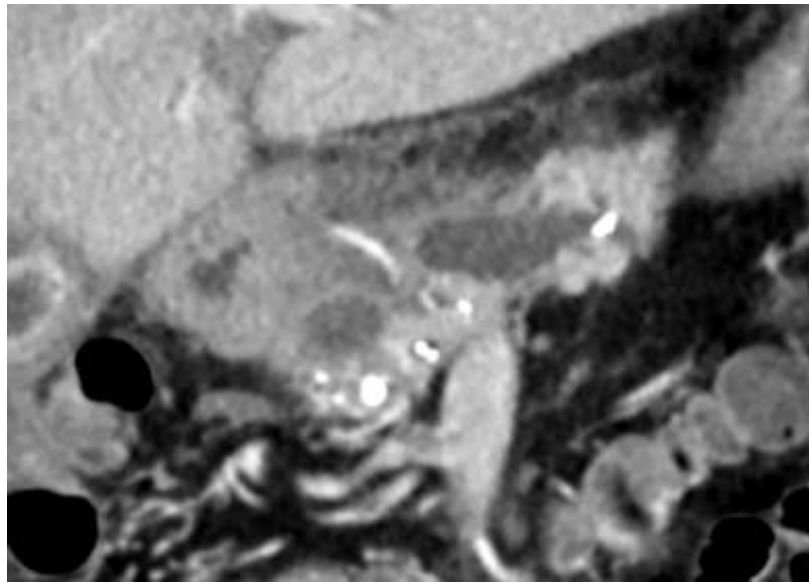
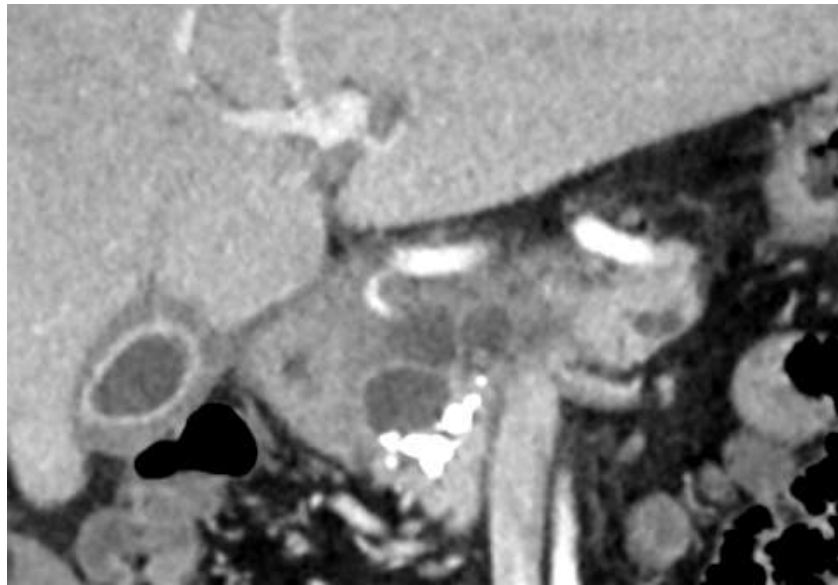
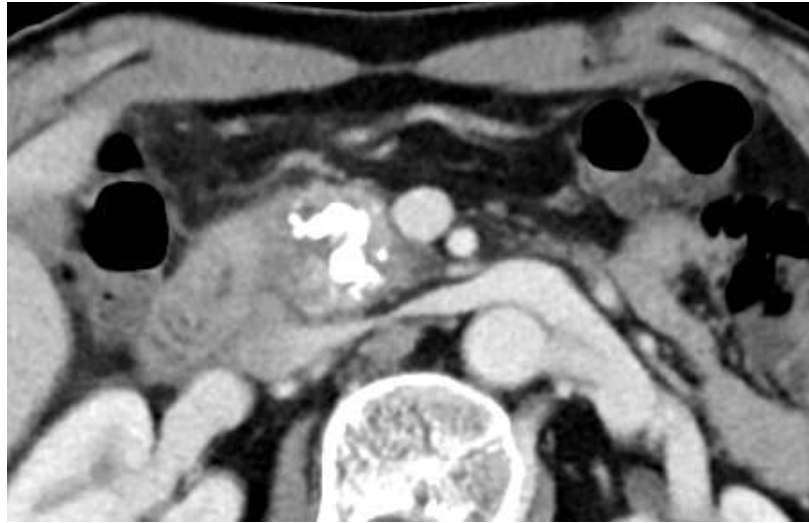
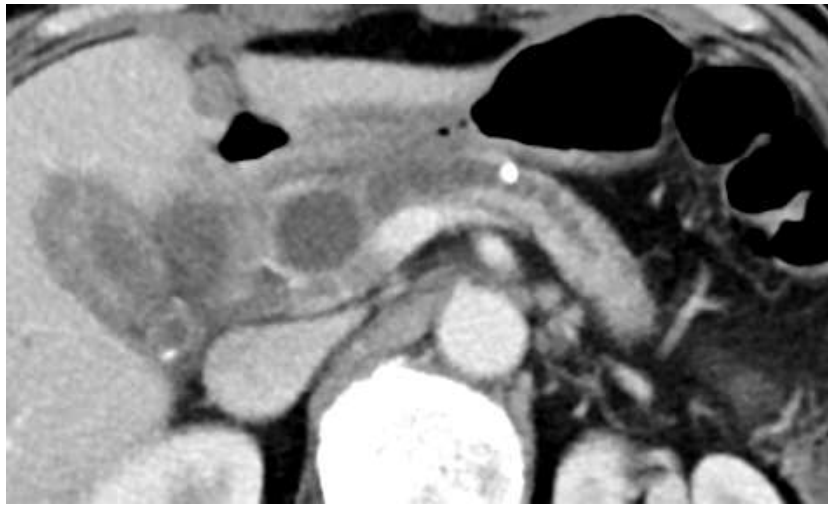
眼球結膜：貧血なし 眼瞼結膜：黄染なし

腹部：平坦 軟 軽度心窩部に圧痛あり 下腿浮腫：なし

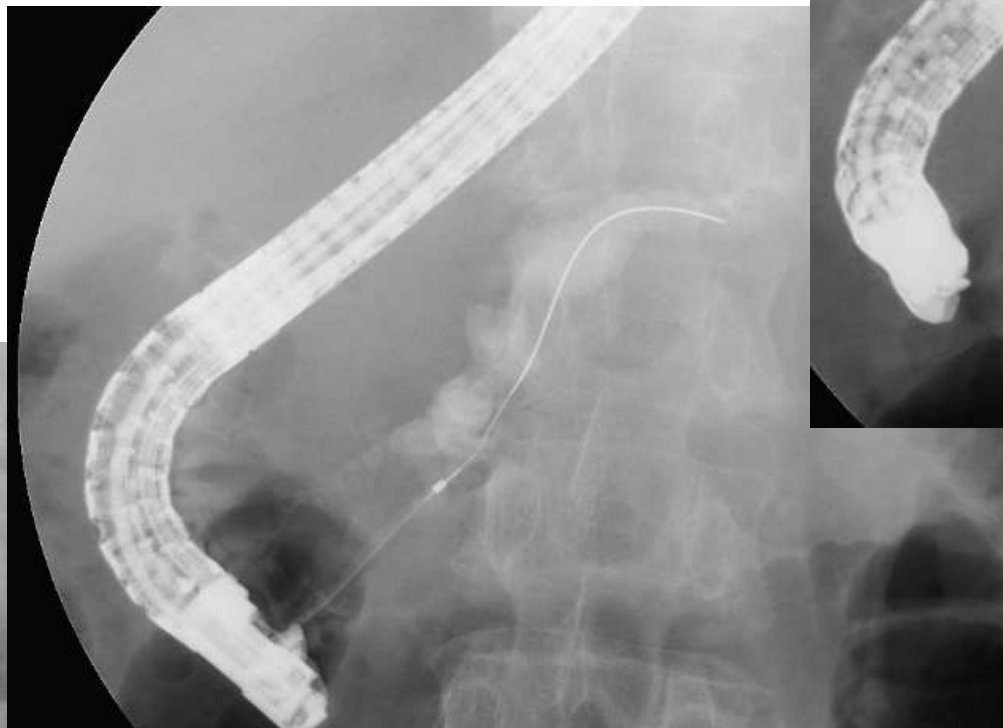
## 血液検査所見(紹介時)

WBC	6910	/ $\mu$ L	BS	105	mg/dL
RBC	$461 \times 10^4$	/ $\mu$ L	HbA1c	5.9	%
Hb	13.9	g/dL	Na	139	mg/dL
MCV	91.0	fL	K	4.1	mg/dL
PLT	$38.2 \times 10^4$	/ $\mu$ L	Cl	105	mg/dL
PT INR	0.96		T-Bil	0.9	mg/dL
Alb	4.5	g/dL	AMY	120	IU/L
AST	16	IU/L	Lipase	66	IU/L
ALT	8	IU/L	Elastase	537	ng/dL
LDH	123	IU/L	CRP	0.13	mg/dL
ALP	239	IU/L			
$\gamma$ -GTP	69	IU/L			
Cre	0.63	mg/dL			
eGFR	102				
BUN	12	mg/dL			

# 腹部造影CT(紹介時)



# ERCP



ガイドワイヤーは膵管狭窄部を通過するも  
膵管ステントは狭窄部を超えず留置できず

## 症例1-Question A

★次に行うべき治療は？

a.ESWL

b.EUS下膵管ドレナージ術

c.外科治療

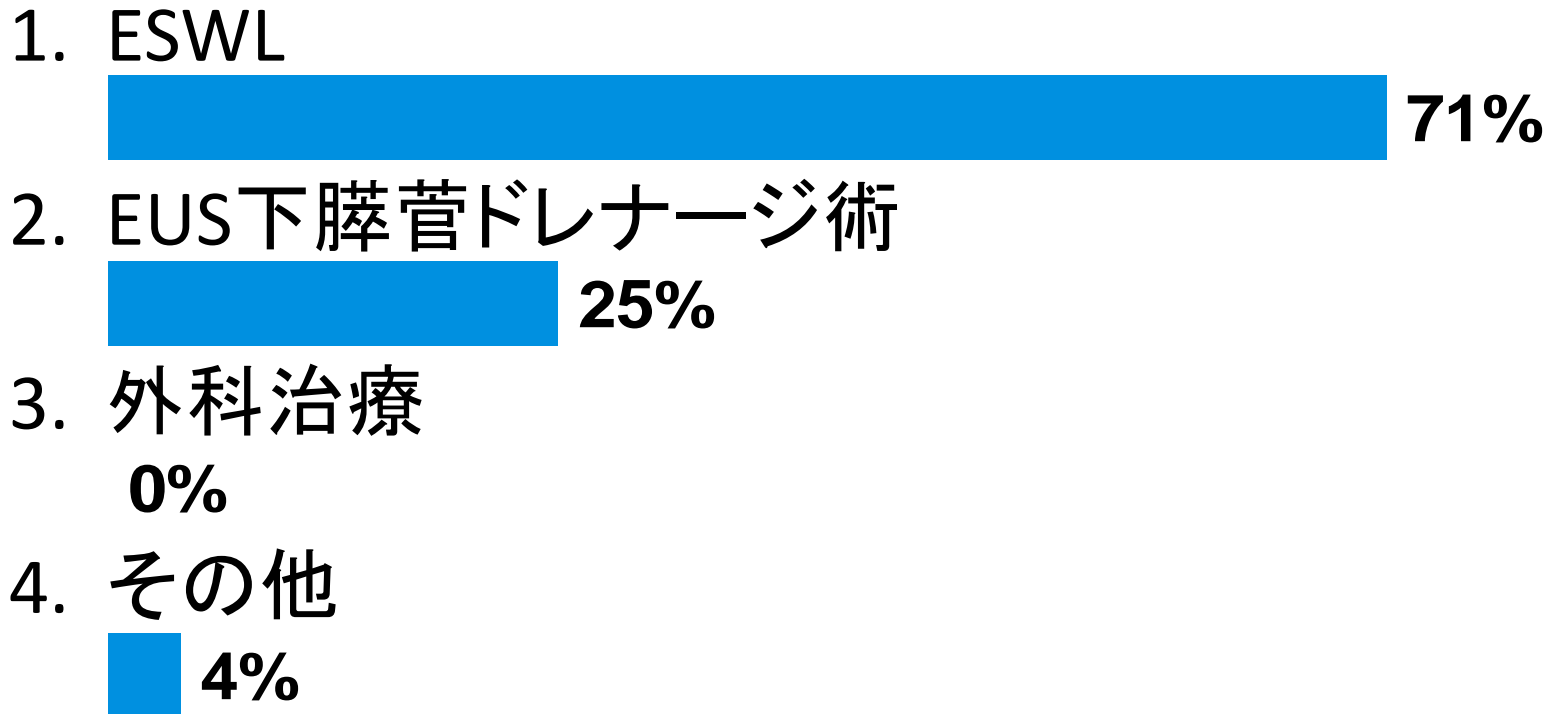
d.その他

(回答者)松波幸寿 先生、石田晶玄 先生



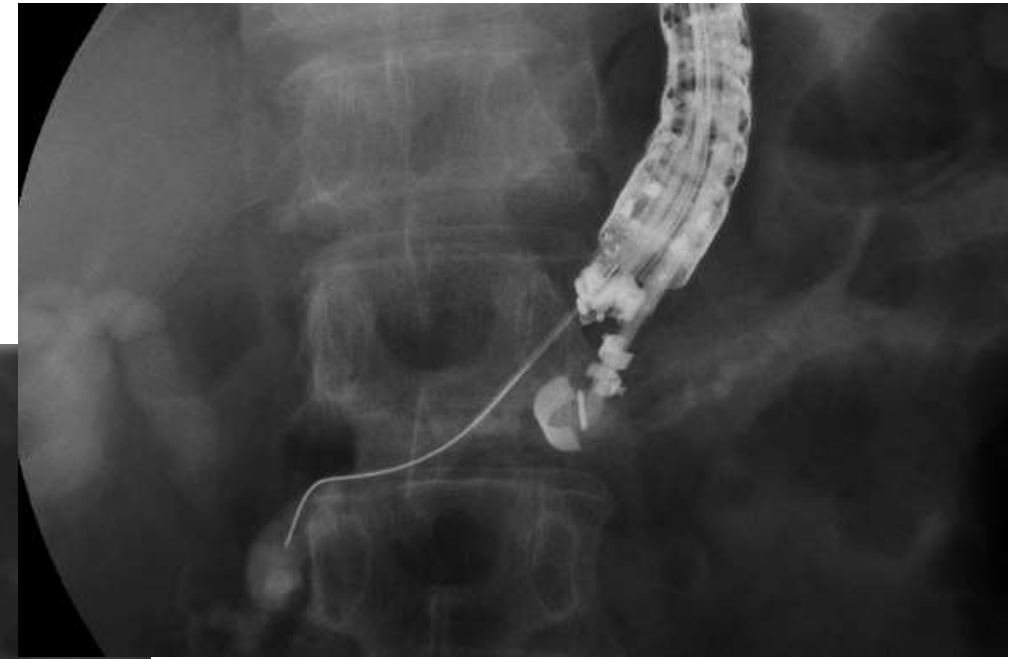
## 症例1-Question A

## ★次に行うべき治療は？





# EUS下膵管ドレナージ術



ガイドワイヤーは膵管狭窄部を超えず  
膵管ステント留置できず

# 経過サマリー

- 内視鏡的膵管ステント留置術→不成功
- 超音波内視鏡下膵管膵管ステント留置術→不成功

## 症例1-Question B

★次に行うべき治療は？

a.ESWL

b.外科治療

c.その他

(回答者)三方林太郎 先生、山本智支 先生



## 症例1-Question B

## ★次に行うべき治療は？

1. ESWL



2. 外科治療



3. その他

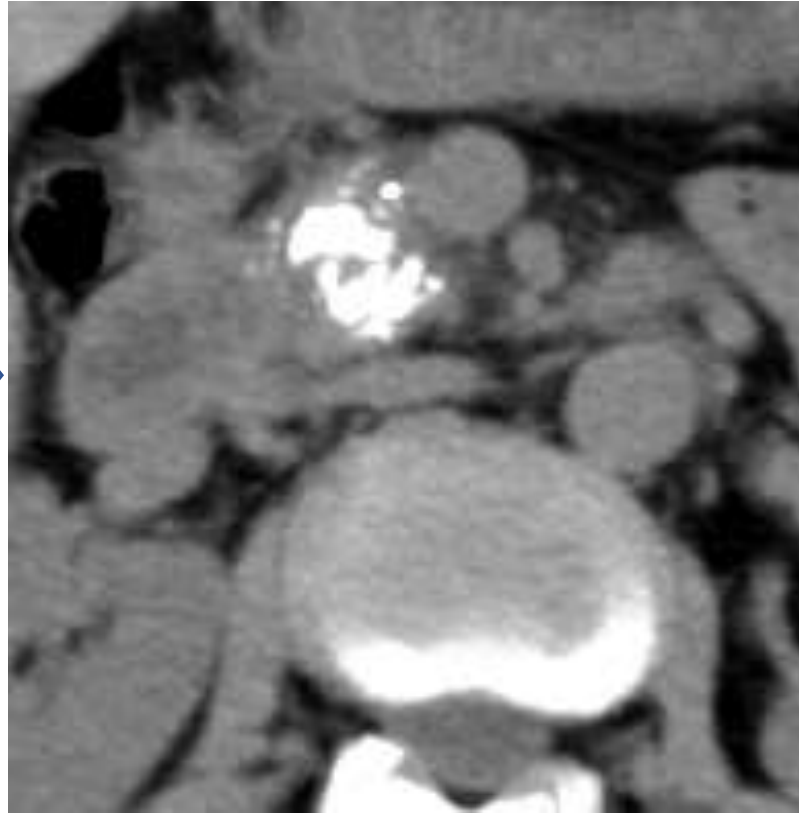
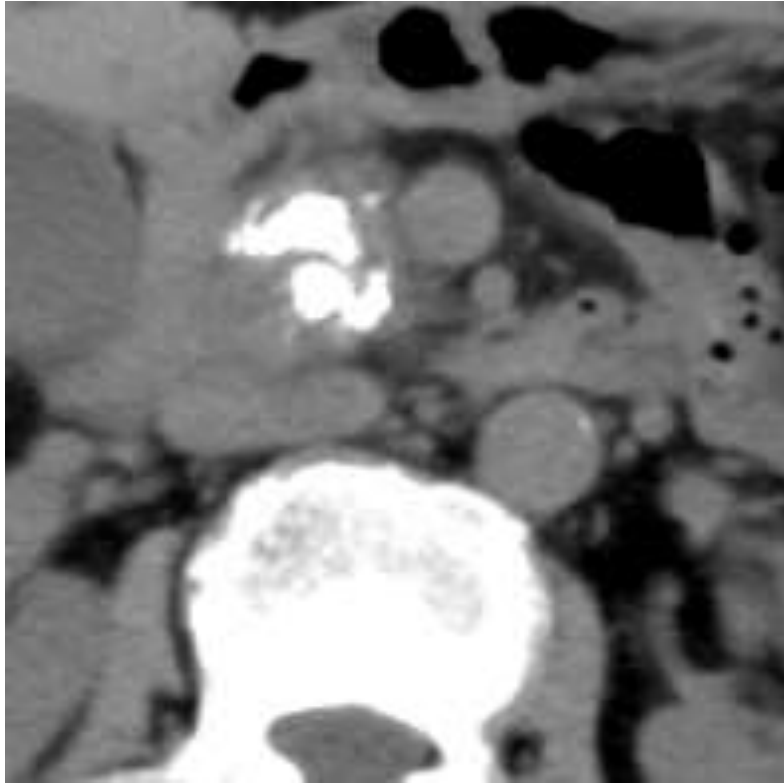
0%



## 治療経過

- ESWLを 6回施行。(3000発／回)

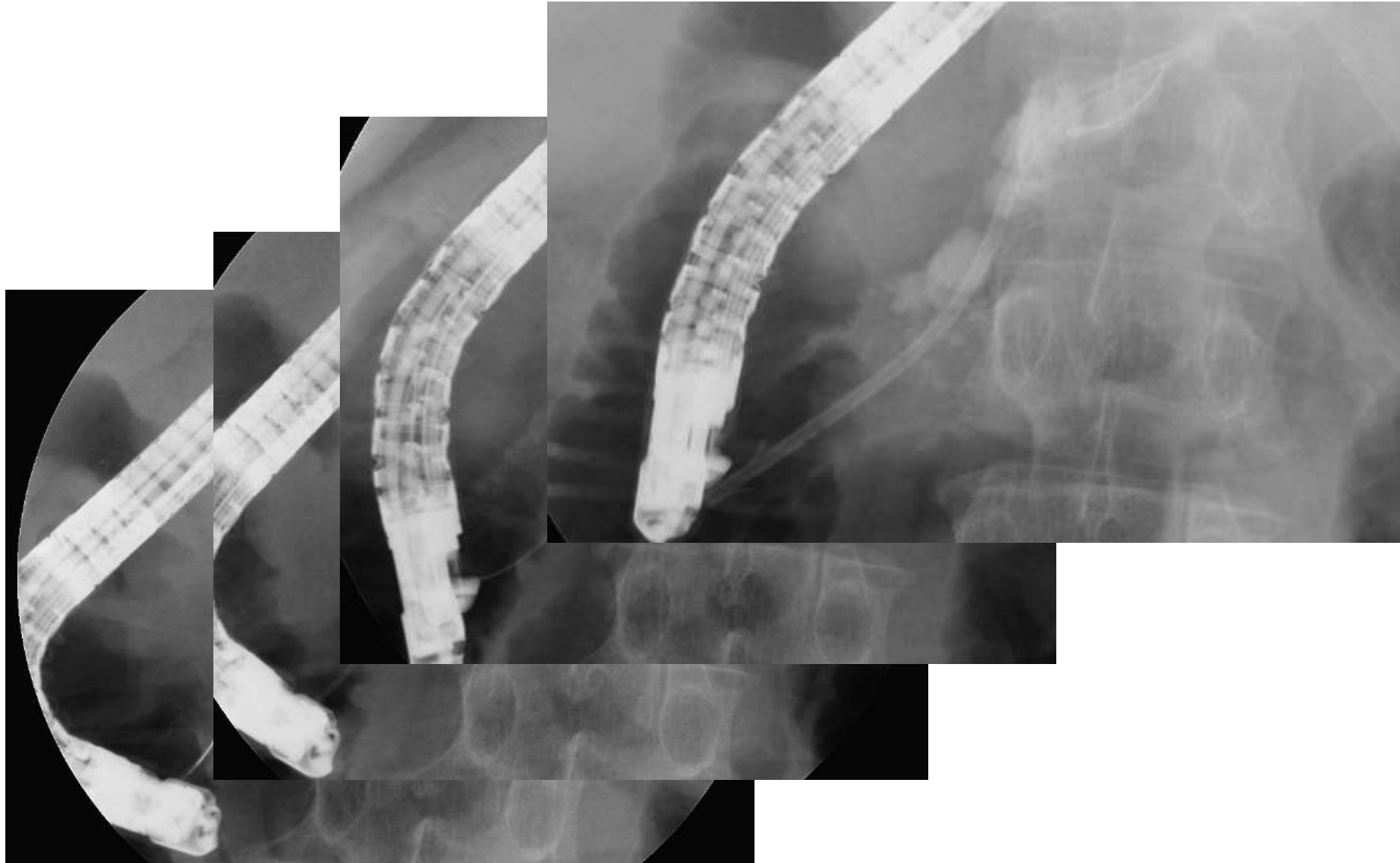
# 胰頭部結石像(單純CT)



ESWL前

ESWL後

# 内視鏡的膵管ステント留置術

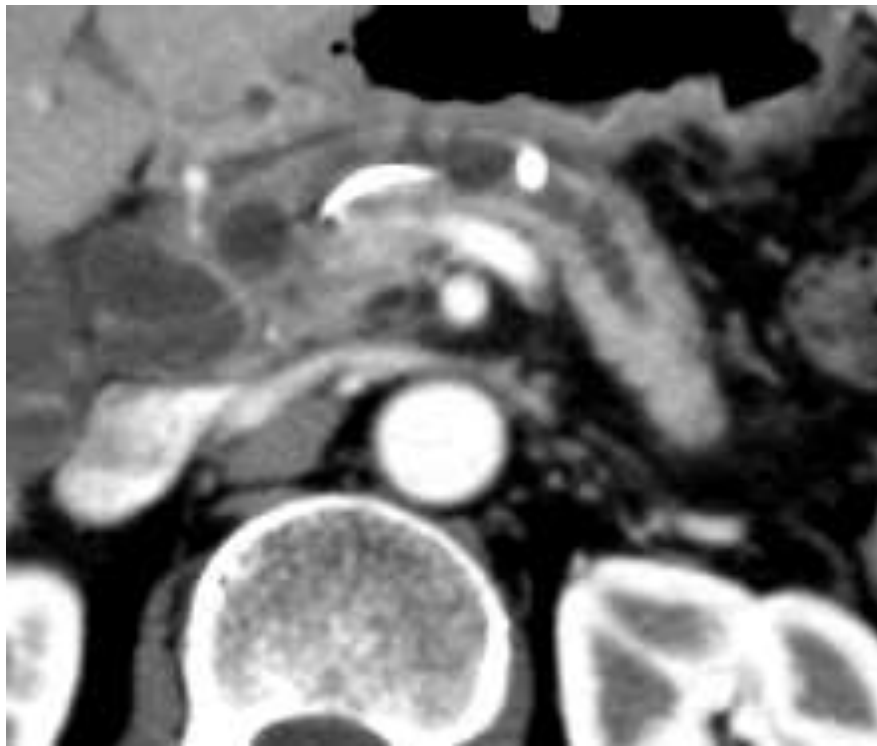


## 治療経過

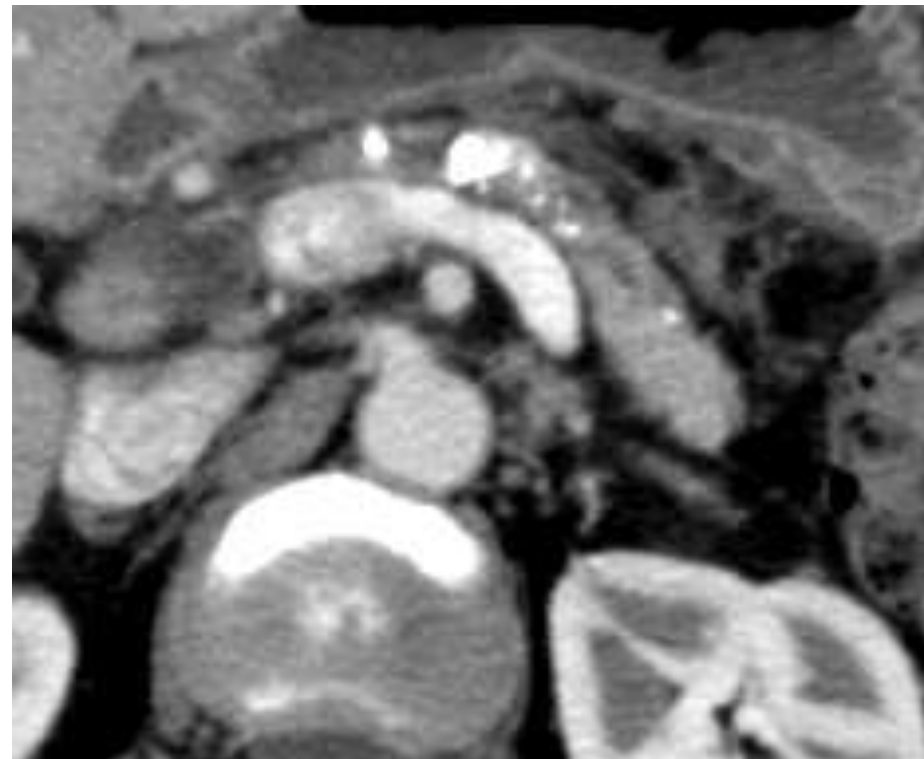
- ESWLを 6回施行。(3000発／回)
- ESWL後、膵管ステント留置(7Fr)→上腹部痛が軽快



# 内視鏡的膵管ステント留置術前後のCT検査



膵管ステント留置前



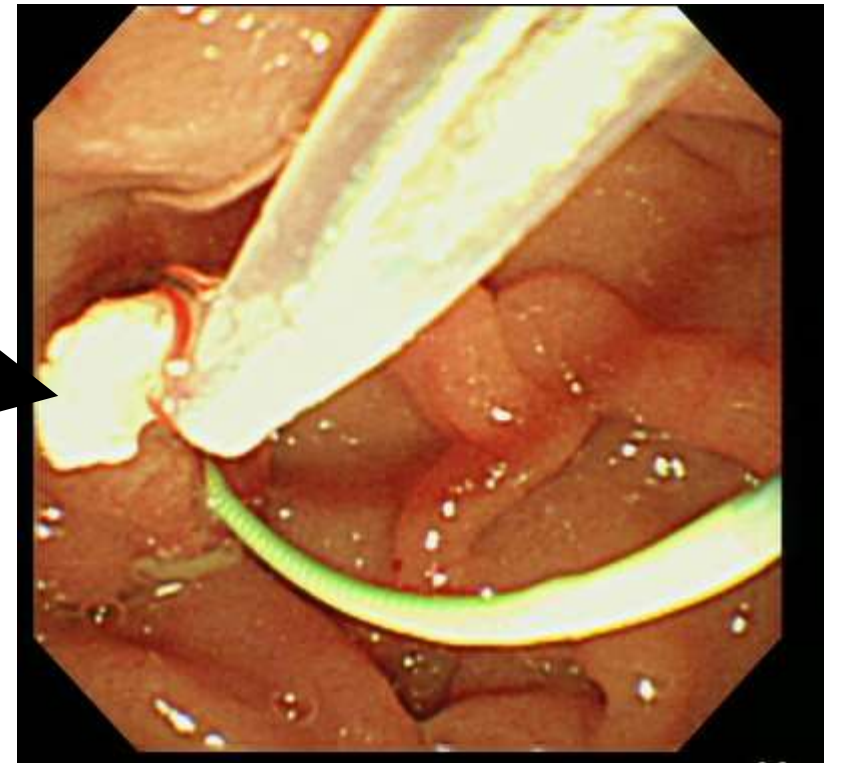
膵管ステント留置後

# 内視鏡的膵管ステント留置術(交換)



## 治療経過

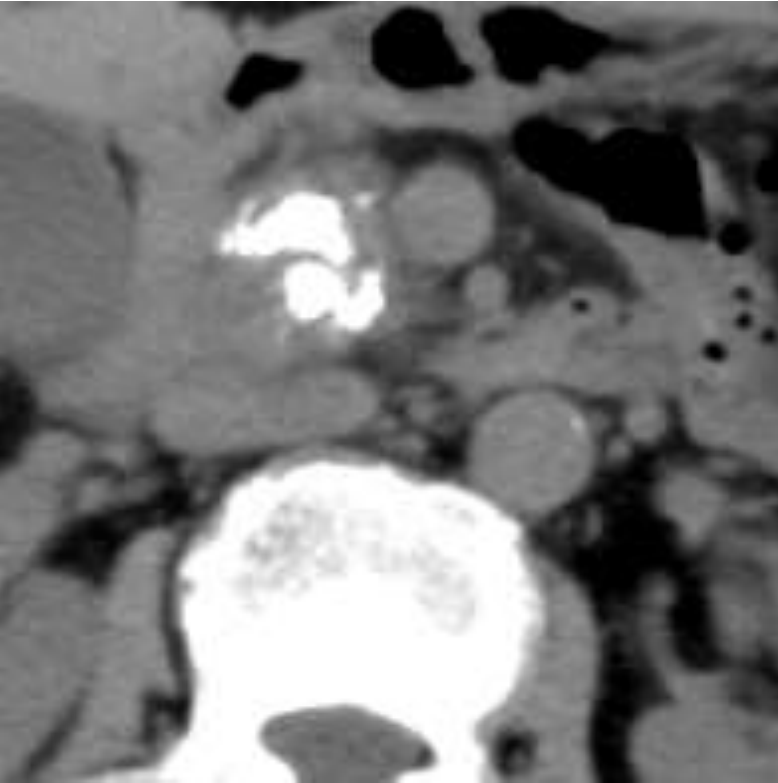
- ESWLを 6回施行。（強度45 3000発／回）
- ESWL後、膵管ステント留置（7Fr）
- 膵管ステントを8.5Frに変更
- バスケットにて膵石の採石



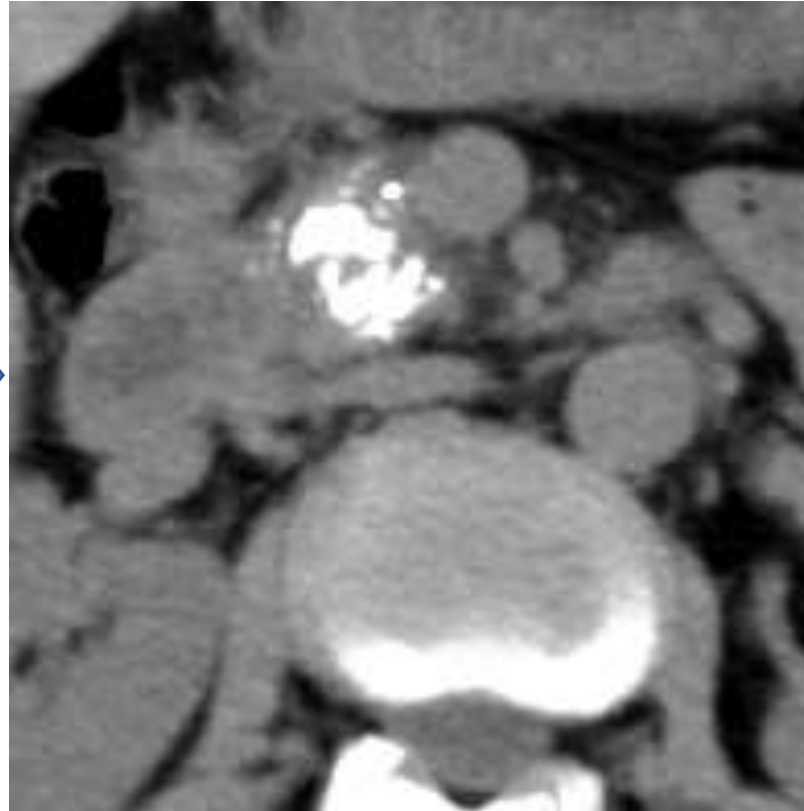
## 治療経過

- ESWLを 6回施行。（強度45 3000発／回）
- ESWL後、膵管ステント留置（7Fr）
- 膵管ステントを8.5Frに変更
- バスケットにて膵石の採石
- 膵管ステント（8.5Fr）の交換と膵石の採石（8回／4年）
- 膵管ステント留置後、腹痛なし、膵炎の再燃なし

# 胰頭部結石CT像



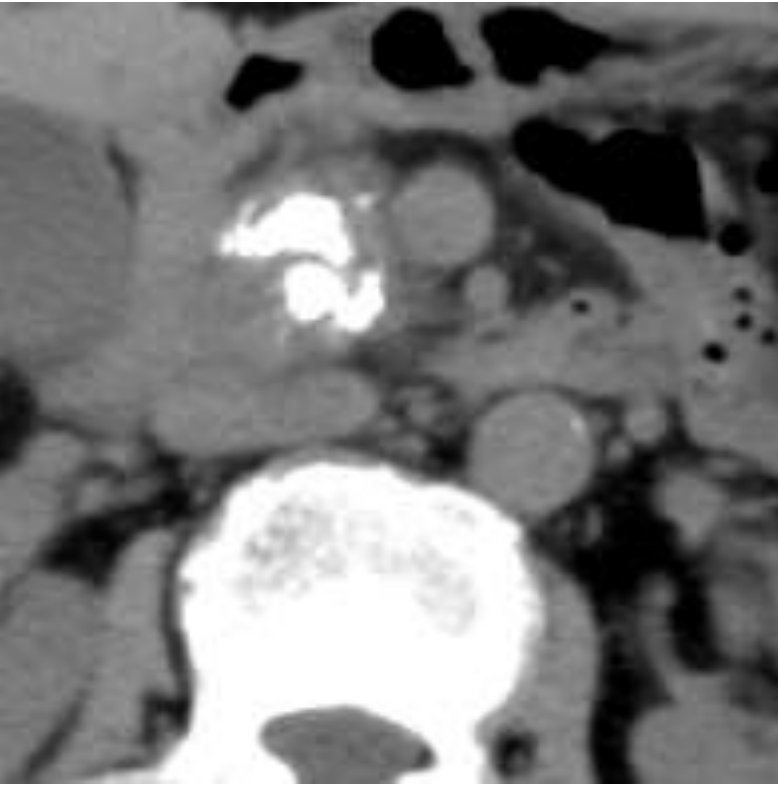
ESWL前



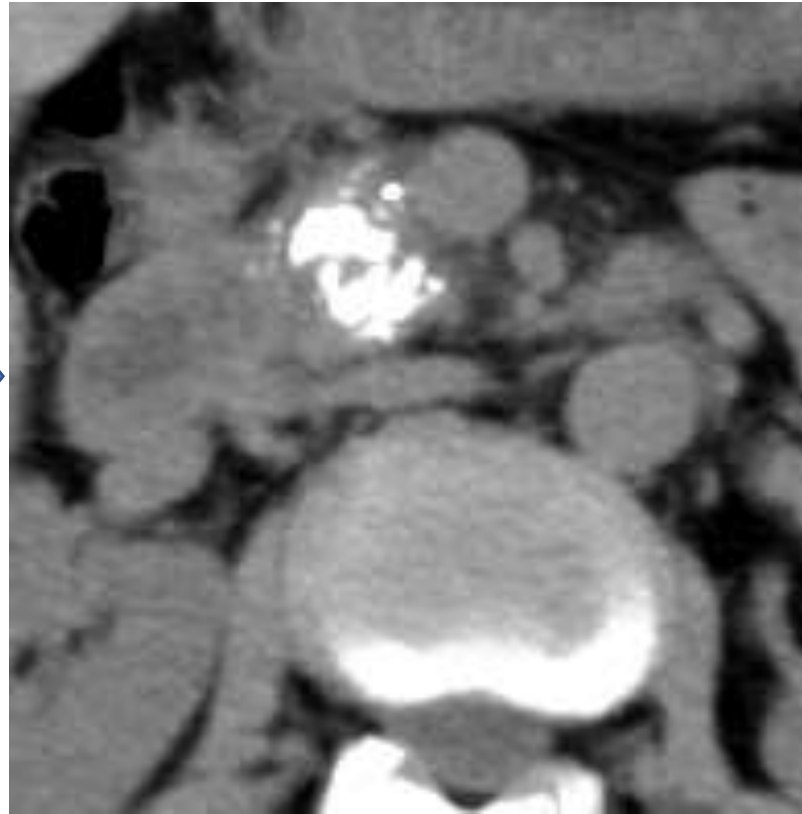
ESWL後



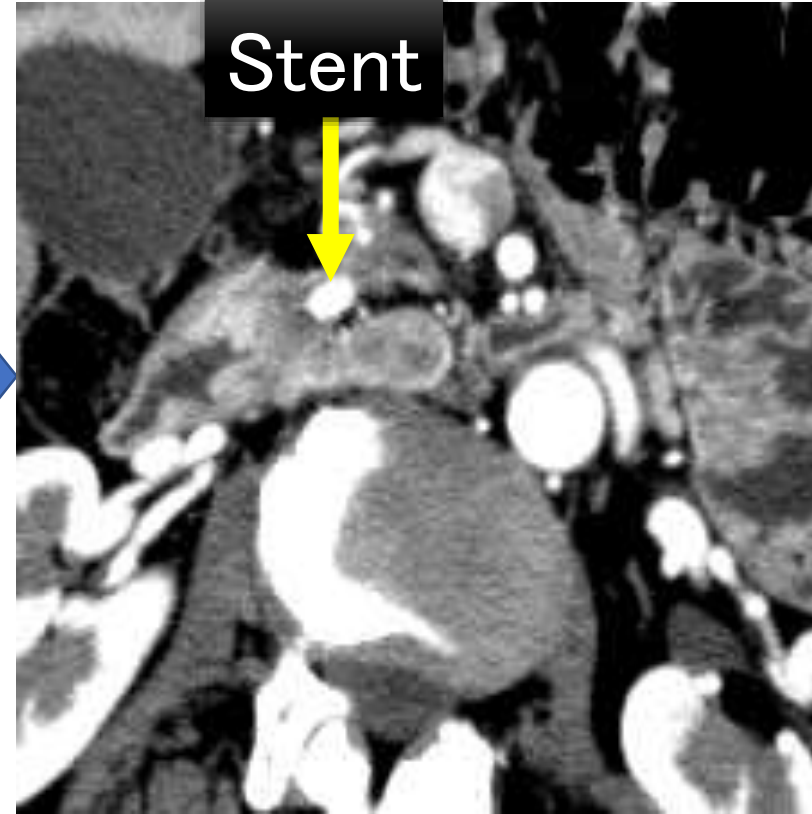
# 胰頭部結石CT像



ESWL前



ESWL後



結石除去後

## 症例のまとめ

ESWLと内視鏡治療を併用することにより膀胱石除去が可能となり、慢性膀胱炎症状が軽快した

# 症例2



53歳、男性

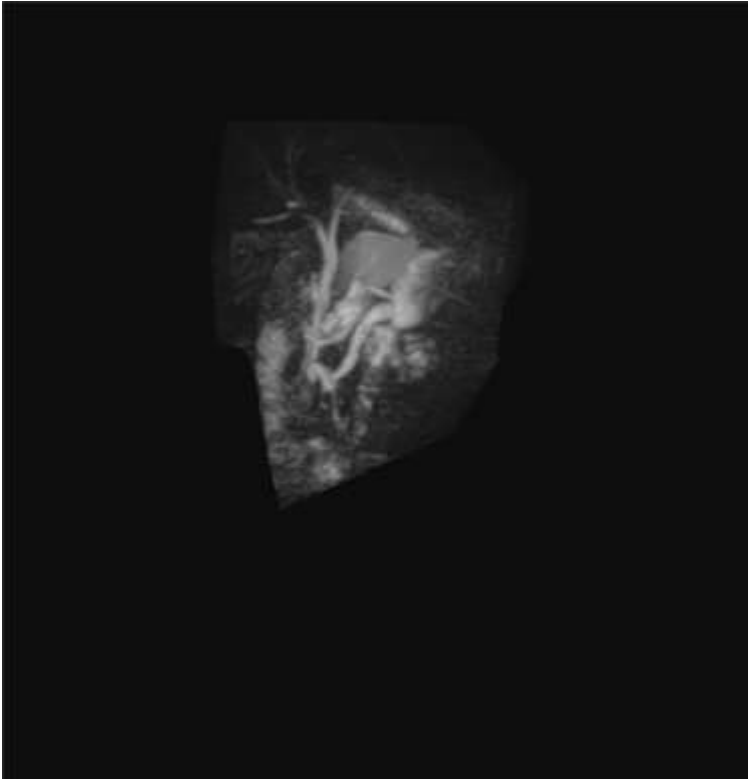
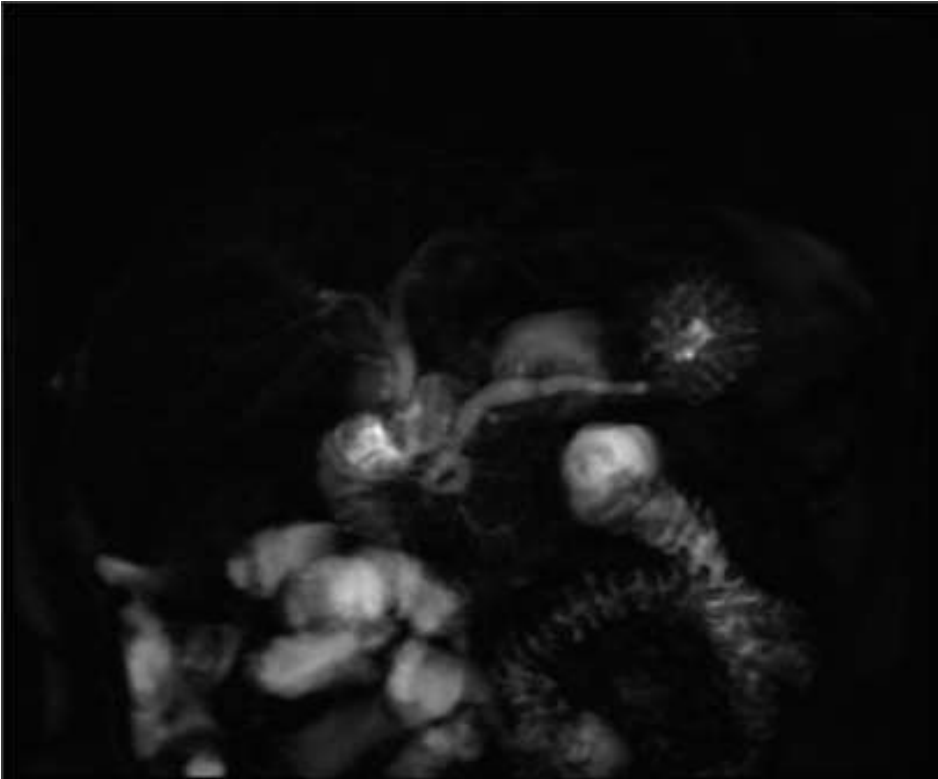
2015年6月、健康診断で高アマラーゼ血症を指摘され、精査の結果、膵頭部に結石を伴う慢性膵炎と診断されたが無症状であったため放置していた。

2017年12月14日に心窩部痛と背部痛が出現し、自製外となり前医に入院した。

飲酒歴：20歳ごろから焼酎1-2升/日（40歳まで）

喫煙歴：20歳ごろから1-2箱/日

2017/11/27



2017/11/29



## 症例2-Question A ★次に行うべき治療は？

1. ERCPによる膵管ステント留置術  
63%
2. ERCPによる結石除去術  
9%
3. ESWL  
24%
4. EUS下膵管ドレナージ術  
0%
5. 外科治療  
0%
6. その他  
4%



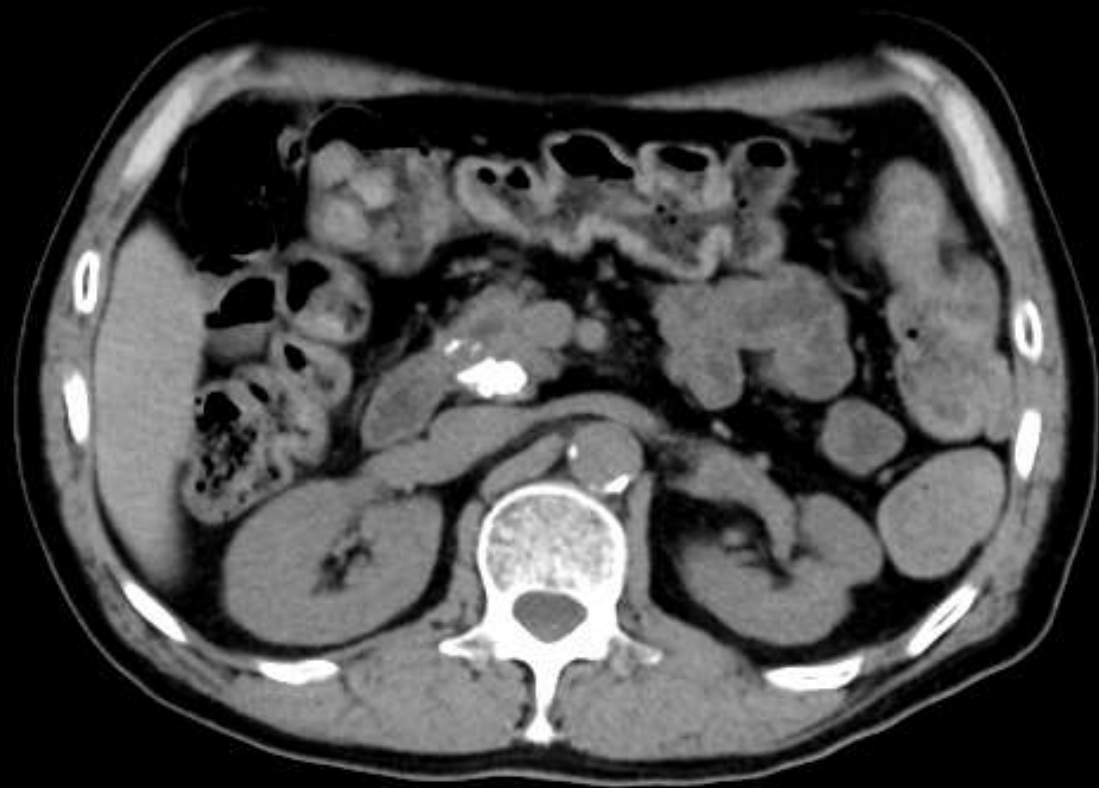
2017年12月前医にて膵管内にステント留置。

2017/12/18

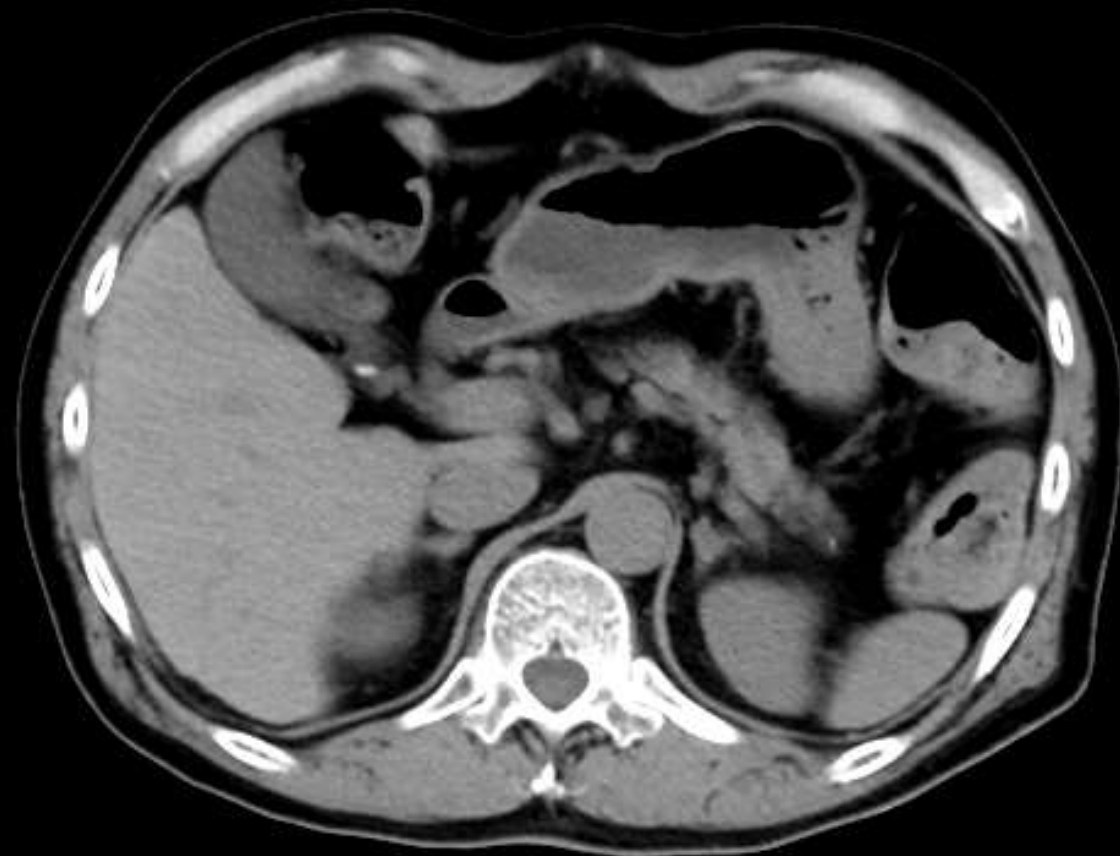


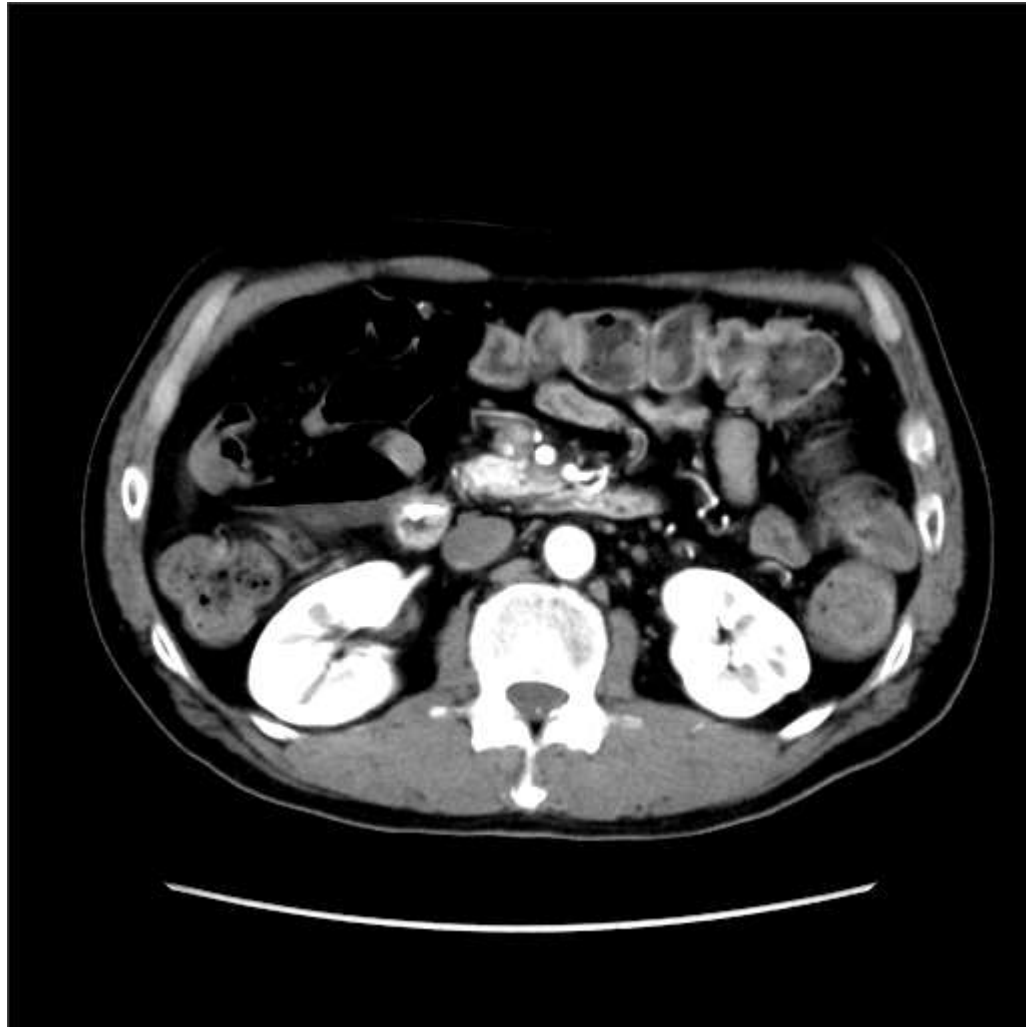
2017/12/18







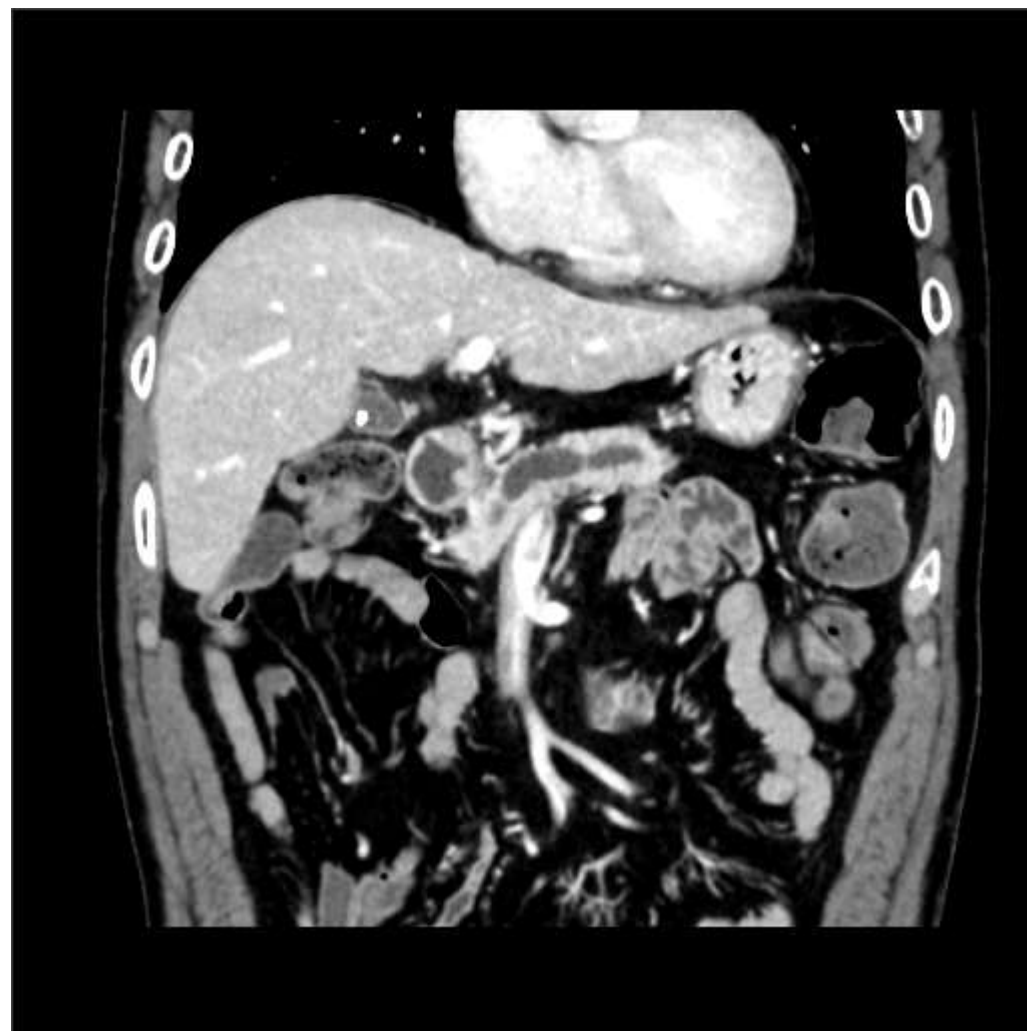












その後も痛みが改善しないため、当院消化器内科を紹介された。





## 症例2-Question B

## ★次に行うべき治療は？

1. ERCPによる結石除去術

2%

2. ESWL

83%

3. EUS下膵管ドレナージ術

13%

4. 外科治療

0%

5. その他

2%





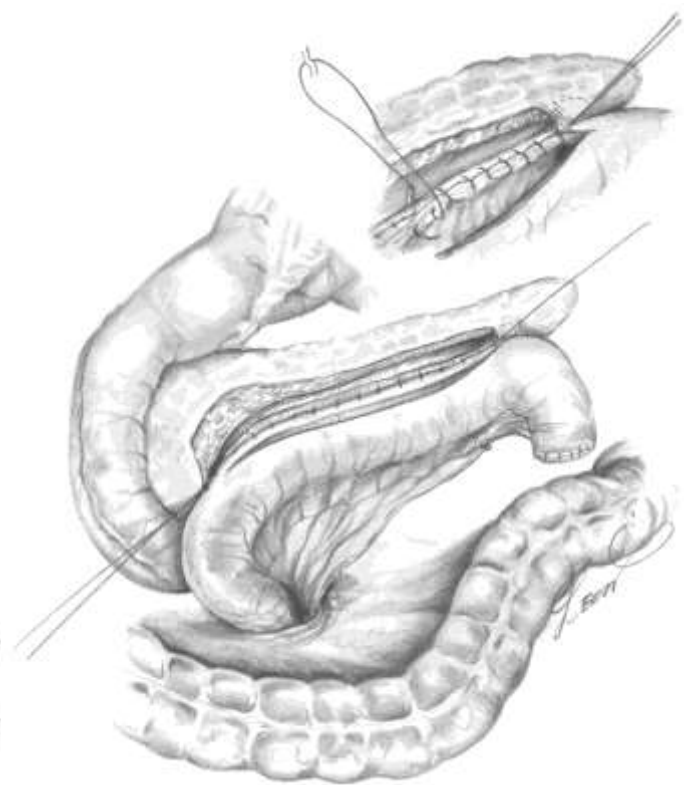
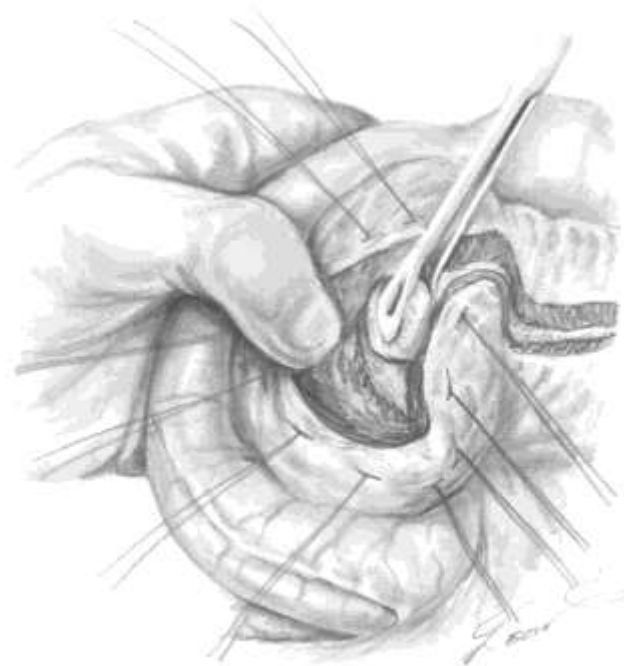
2018年2月14日 Frey手術 胆嚢摘出術

手術時間; 4時間15分

出血量: 455g

術後合併症:なし

術後在院日数;16日



# 症例3

50歳、男性

2010年、膵の石灰化を指摘されたが無症状であった。

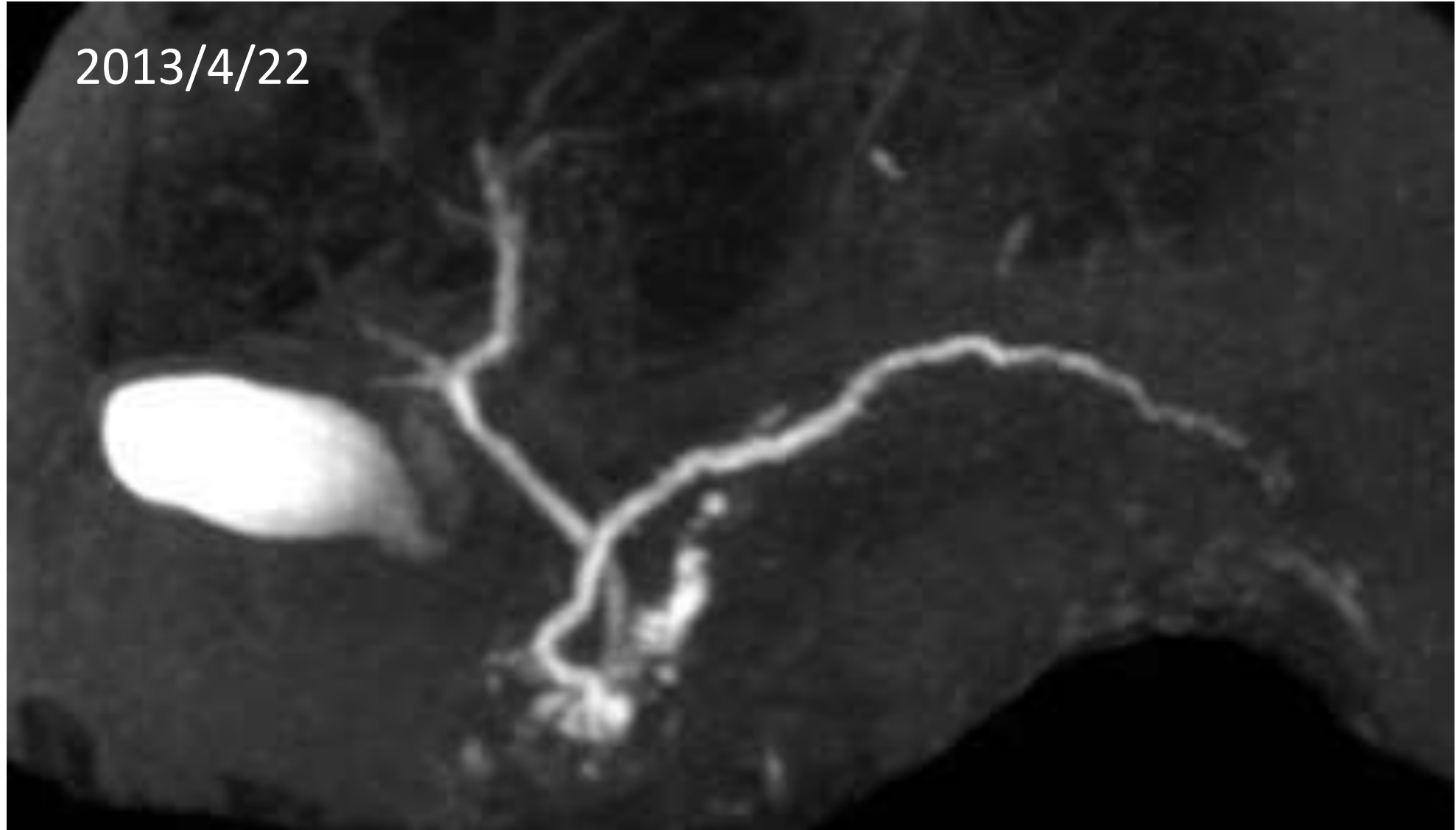
2012年10月に心窩部痛が出現し、慢性膵炎急性増悪と診断され保存的治療を受けた。

2013年3月、4月、5月に慢性膵炎急性増悪にて入院加療を受けたが痛みに改善はなかった。

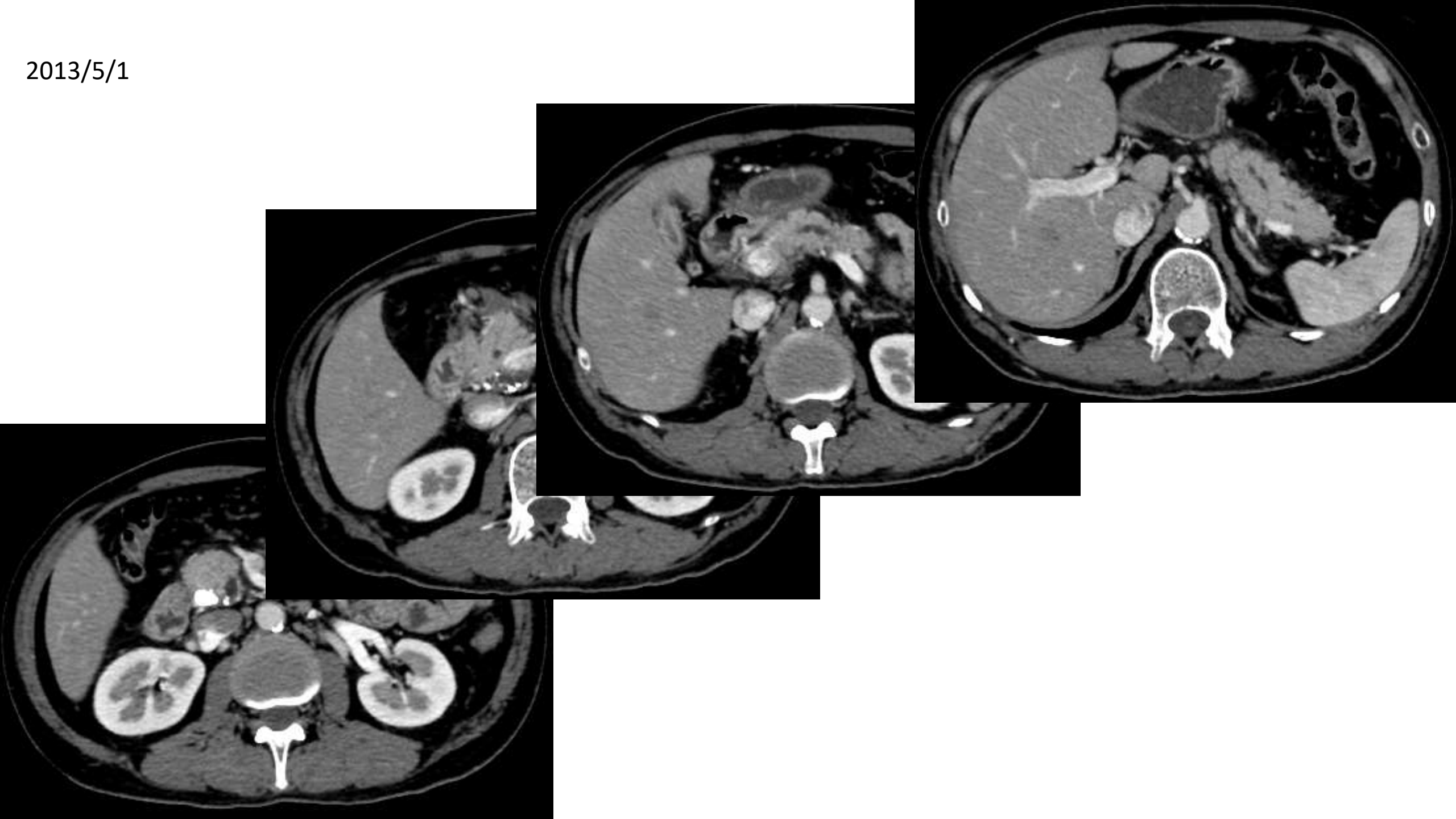
飲酒歴：30歳ごろから毎日50gアルコール摂取

喫煙歴：なし

2013/4/22



2013/5/1



2013年5月に慢性膵炎急性増悪にて再入院加療。  
高次医療機関に紹介され、内視鏡的膵管ステント  
挿入を試みたが、不成功に終わった。

2013/5/6





## ◆質問

1. ESWLを自施設にお持ちで自由に使える  
44%
2. ESWLを自施設にお持ちですが自由に使えない  
22%
3. ESWLを自施設に持っておられない  
34%

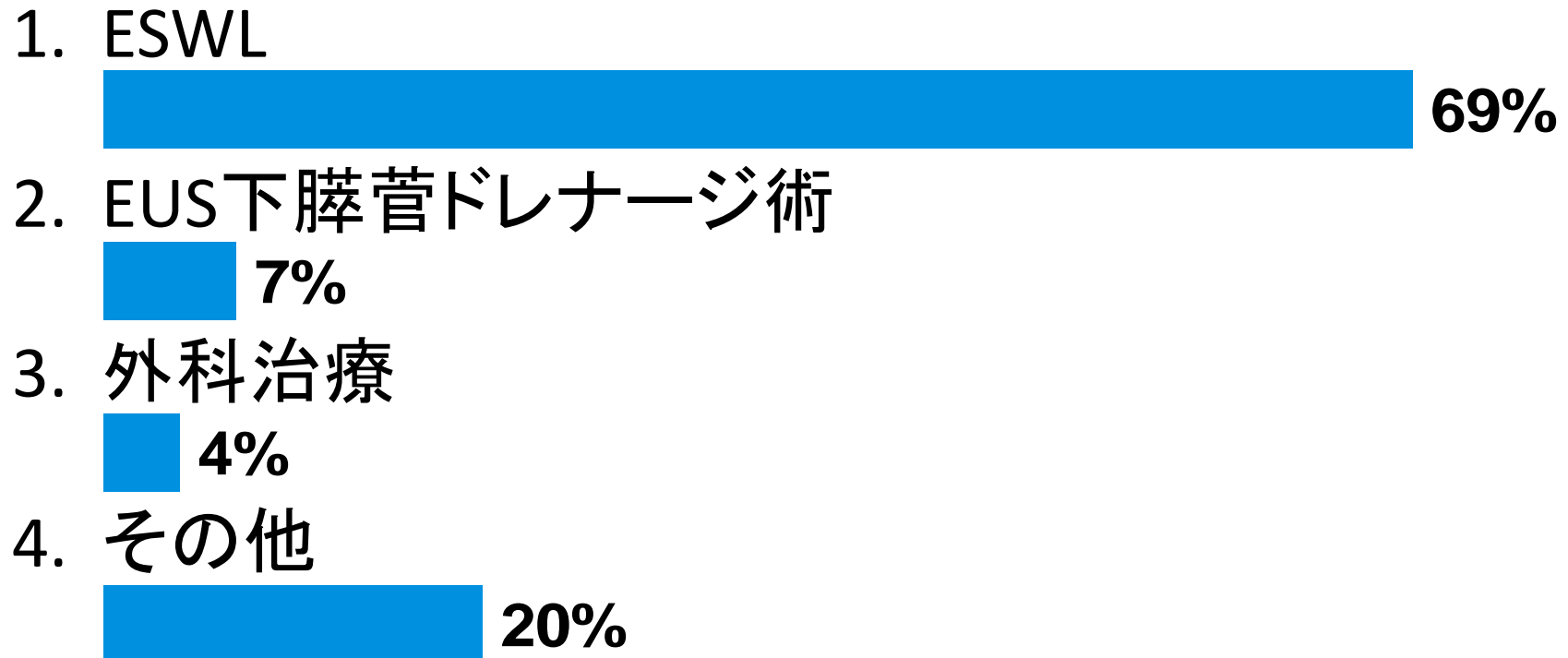




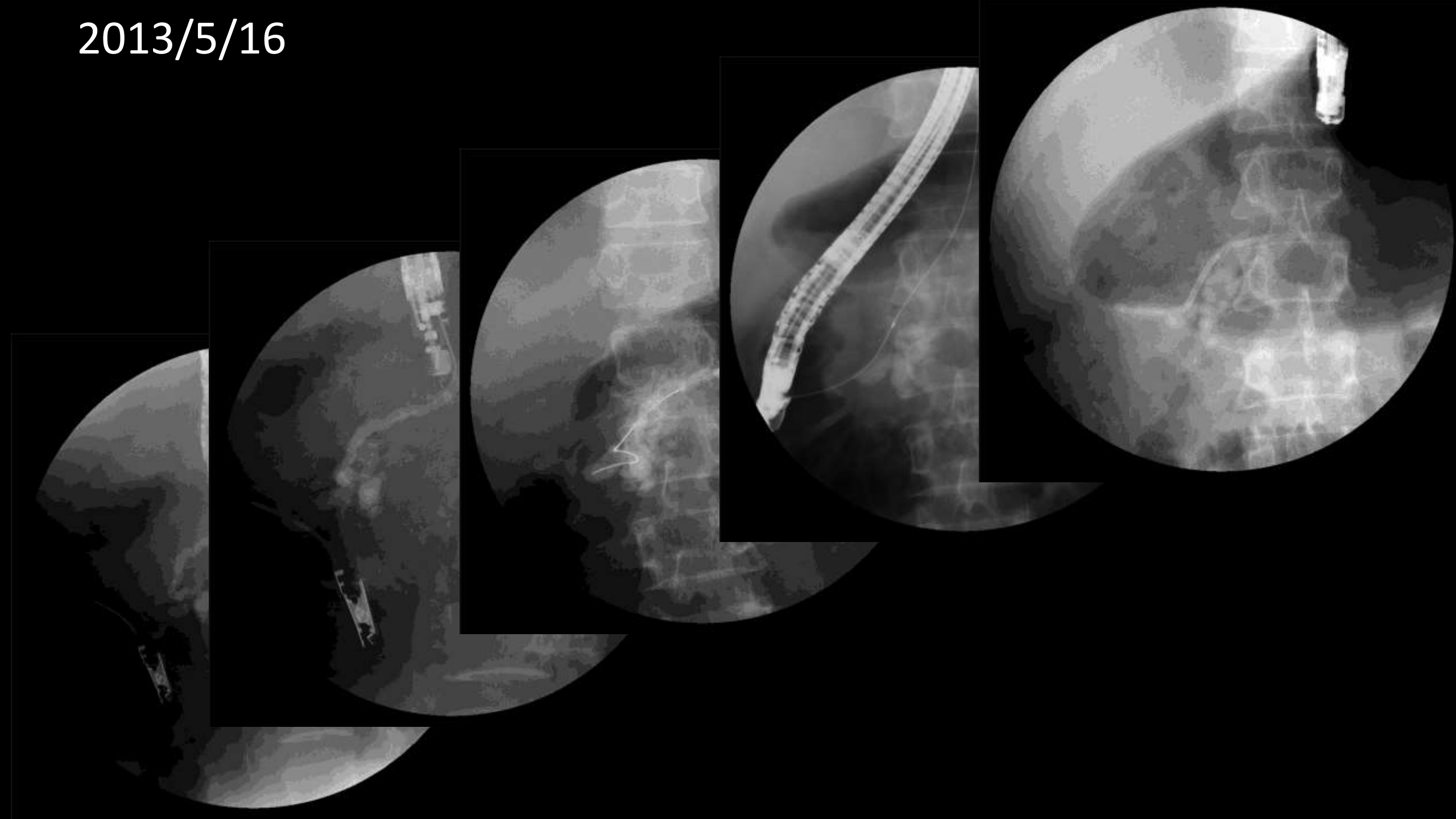


## 症例3-Question A

## ★次に行うべき治療は？



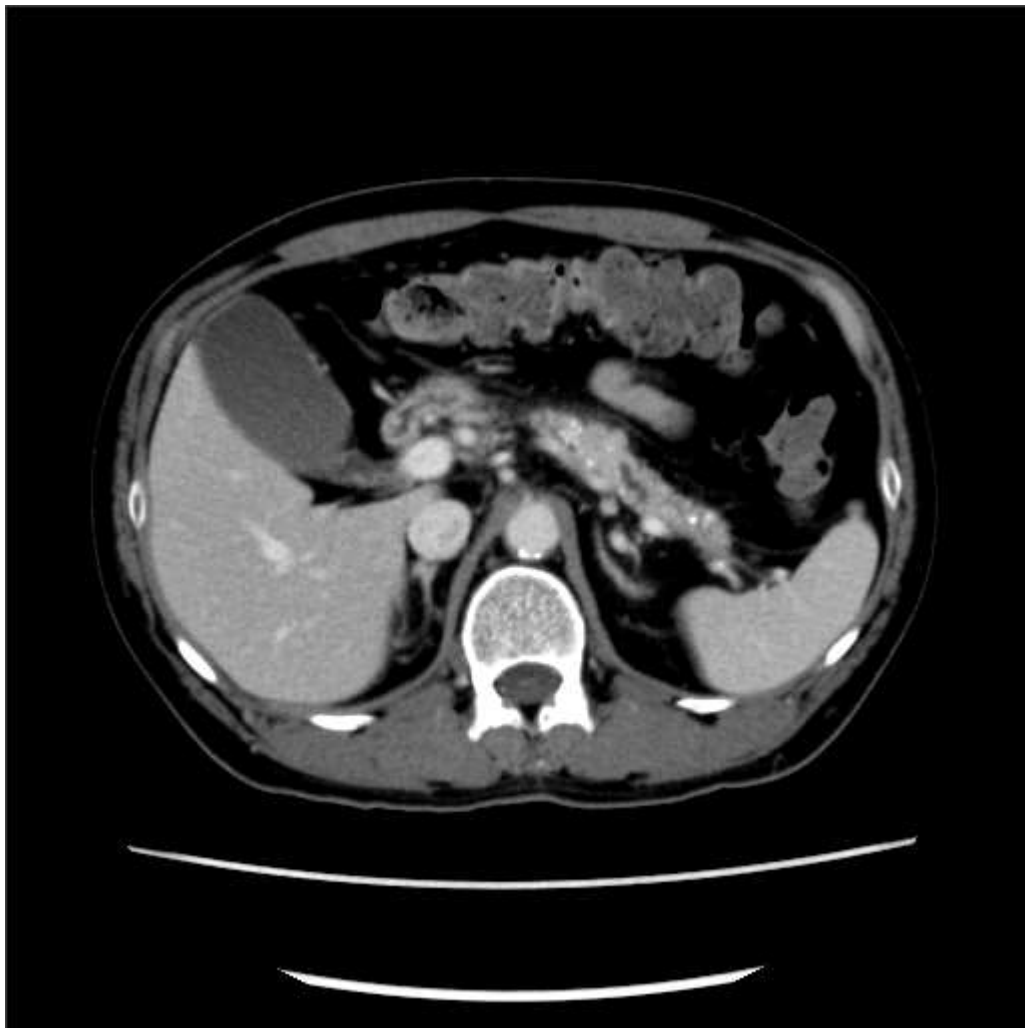
2013/5/16



2015/1/16

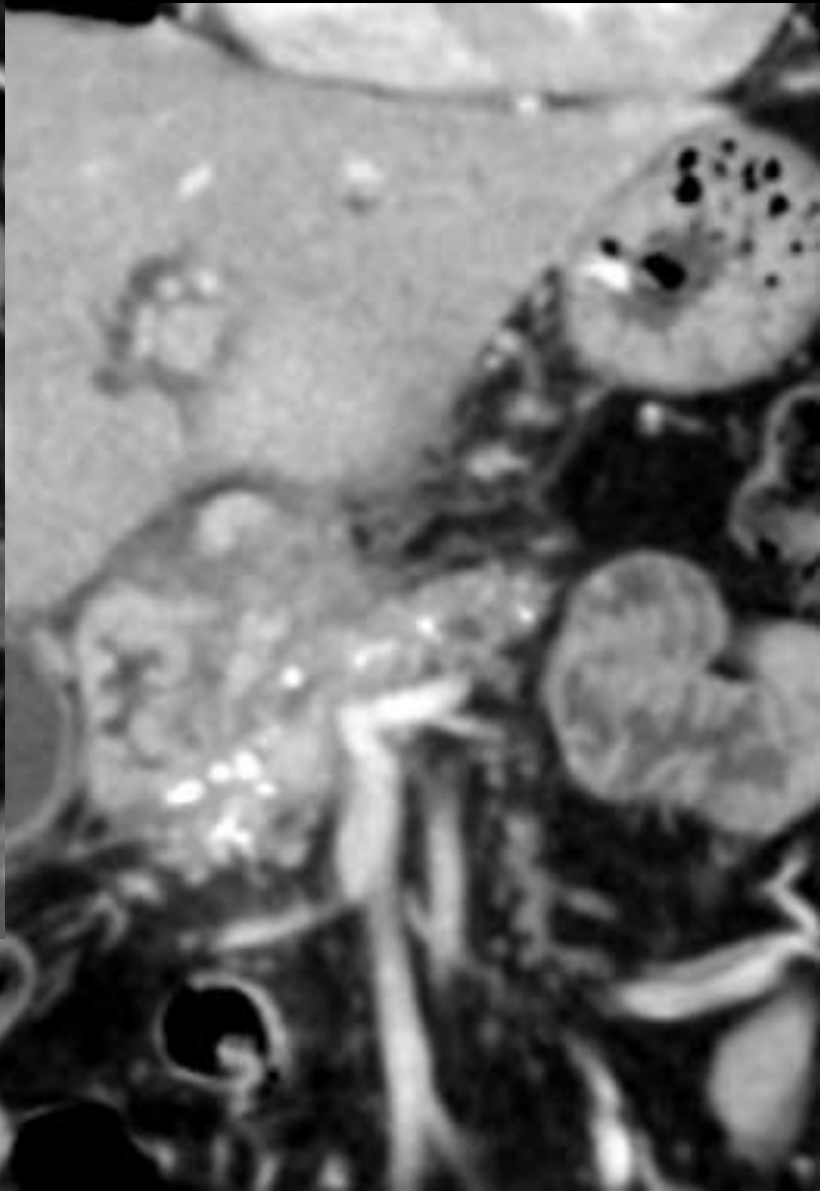
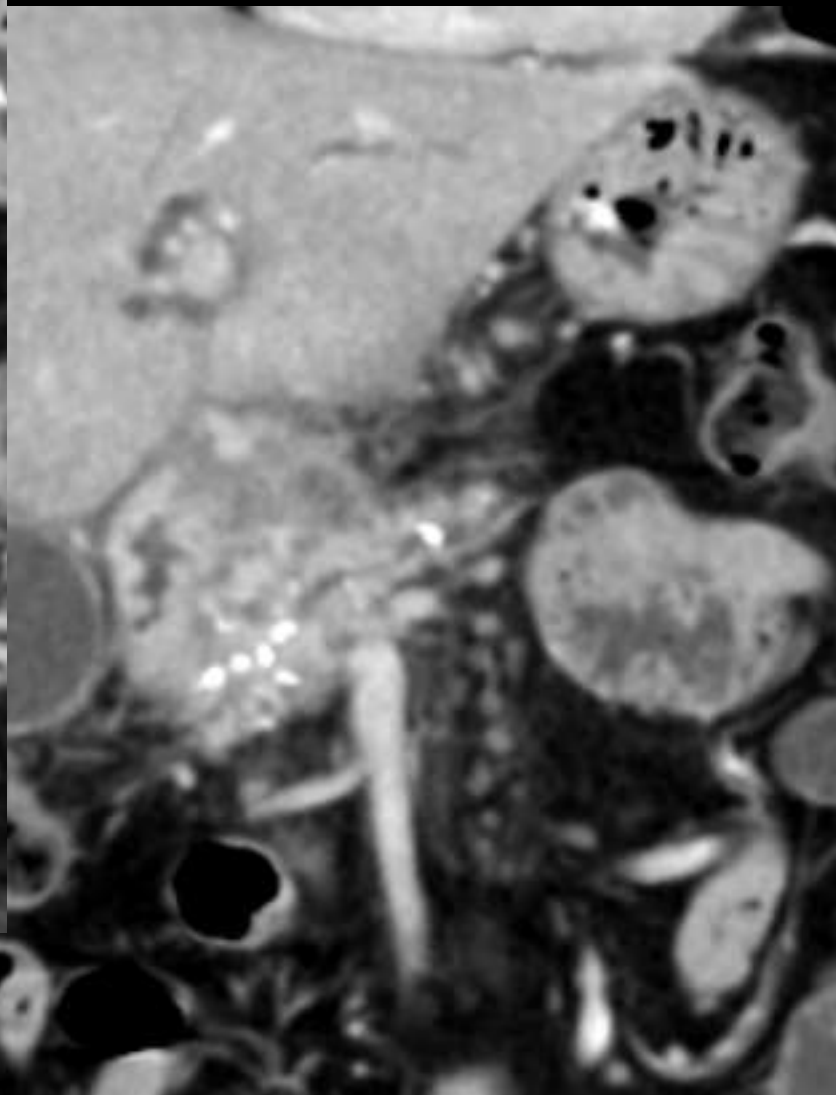
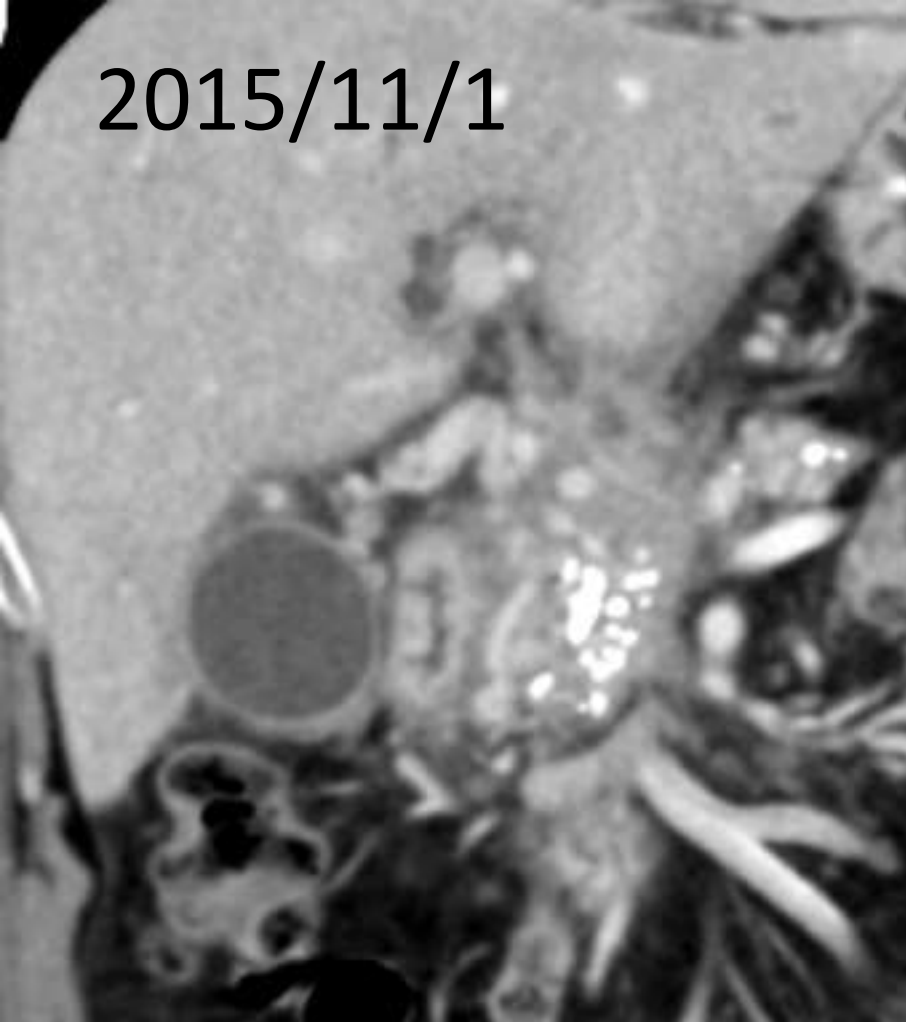


2015/1/16



以降、膵管ステント入れ替えを繰り返していたが、腹痛を繰り返していた。2015年1月にステントを入れ替えたのち、腹痛が増悪したためステントを抜去。その後も膵炎発作を繰り返すため、紹介となった。

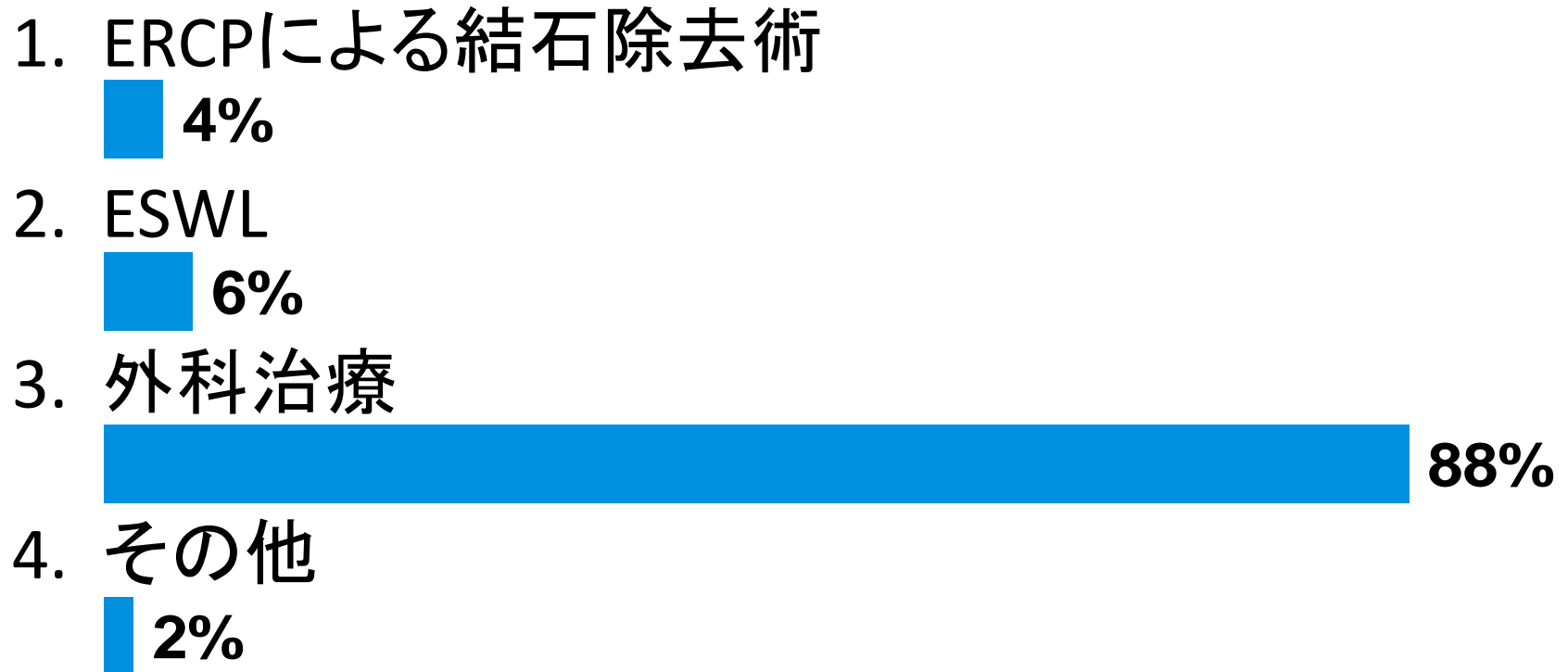
2015/11/1



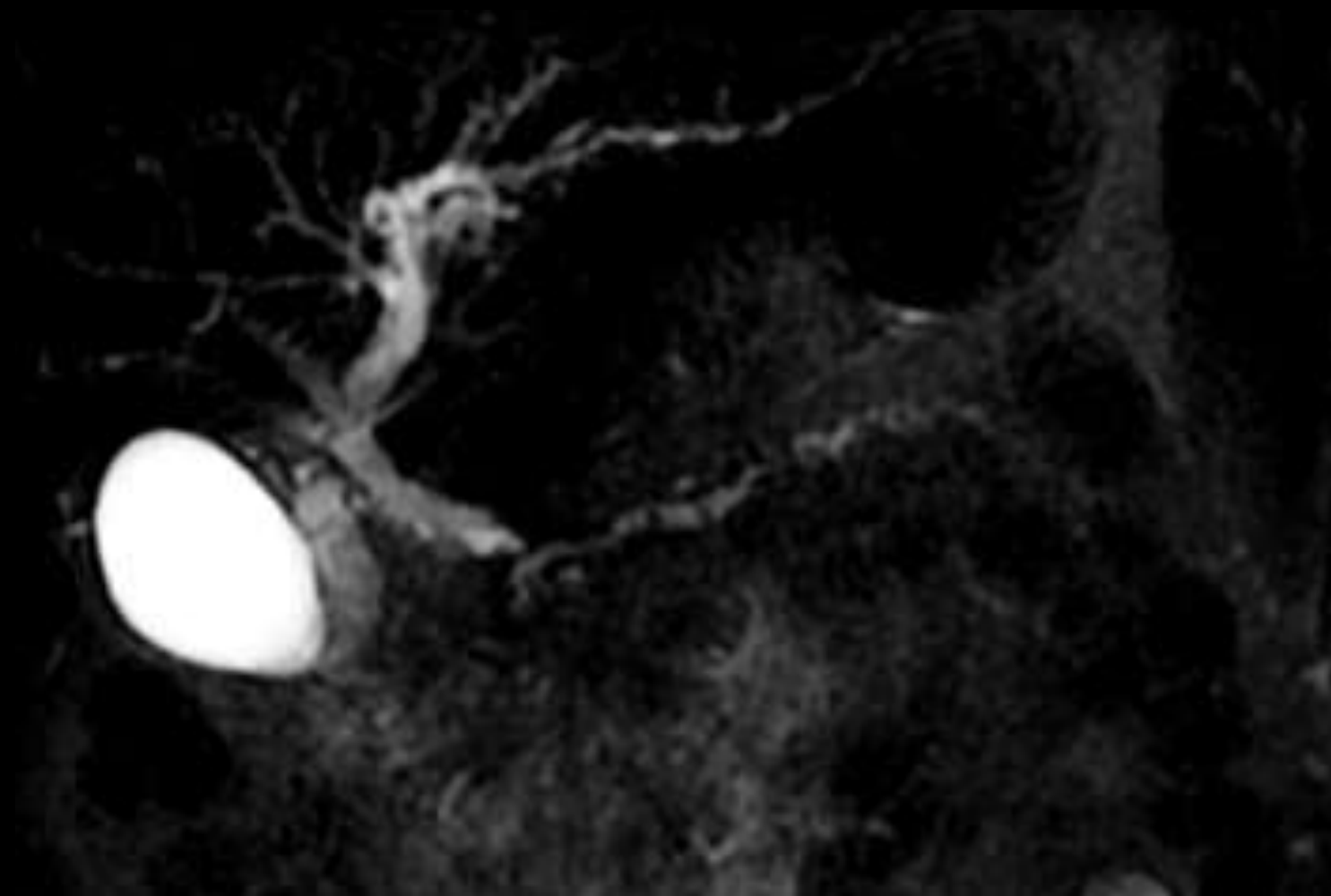


## 症例3-Question B

## ★次に行うべき治療は？

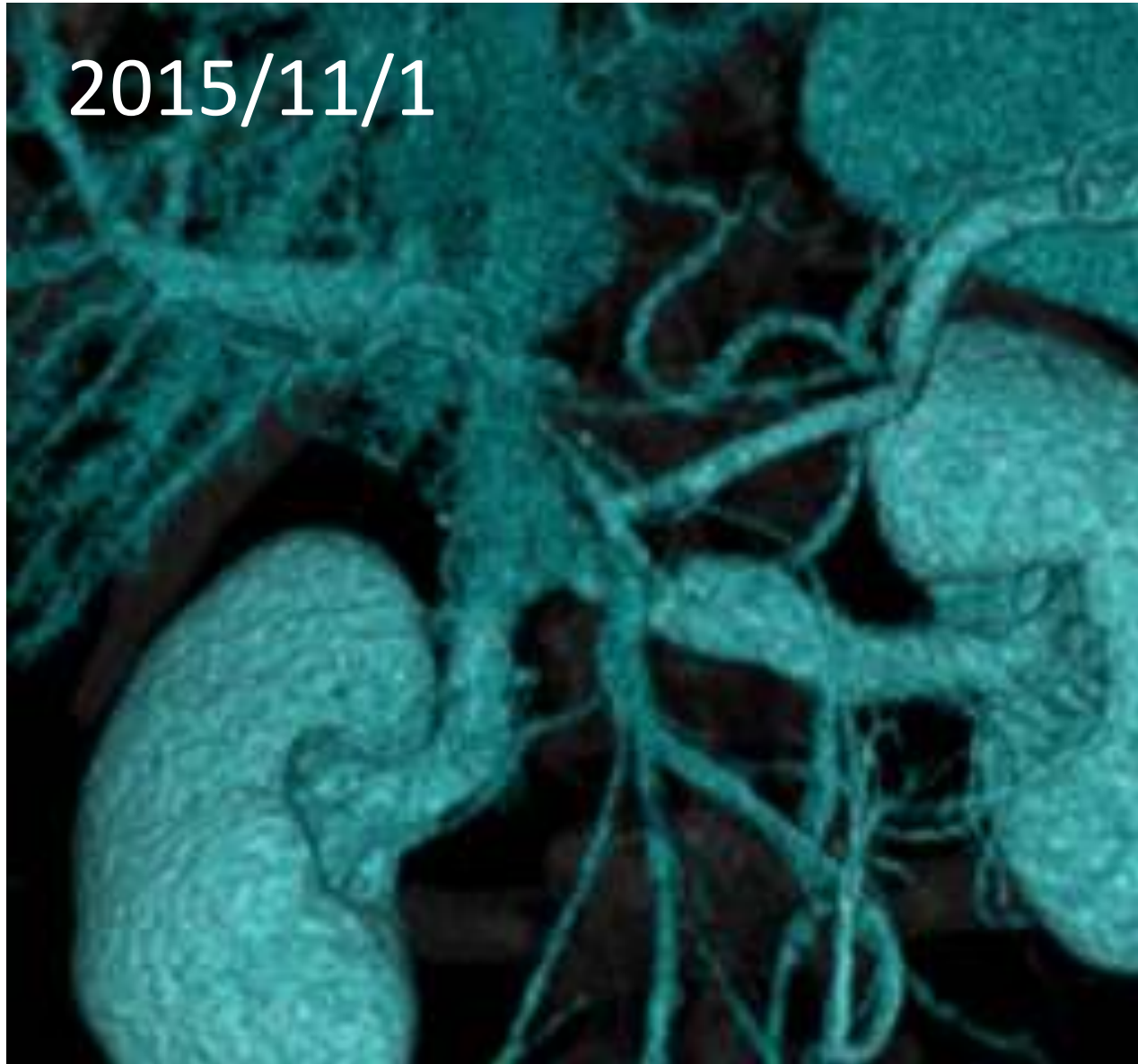


2015/11/3

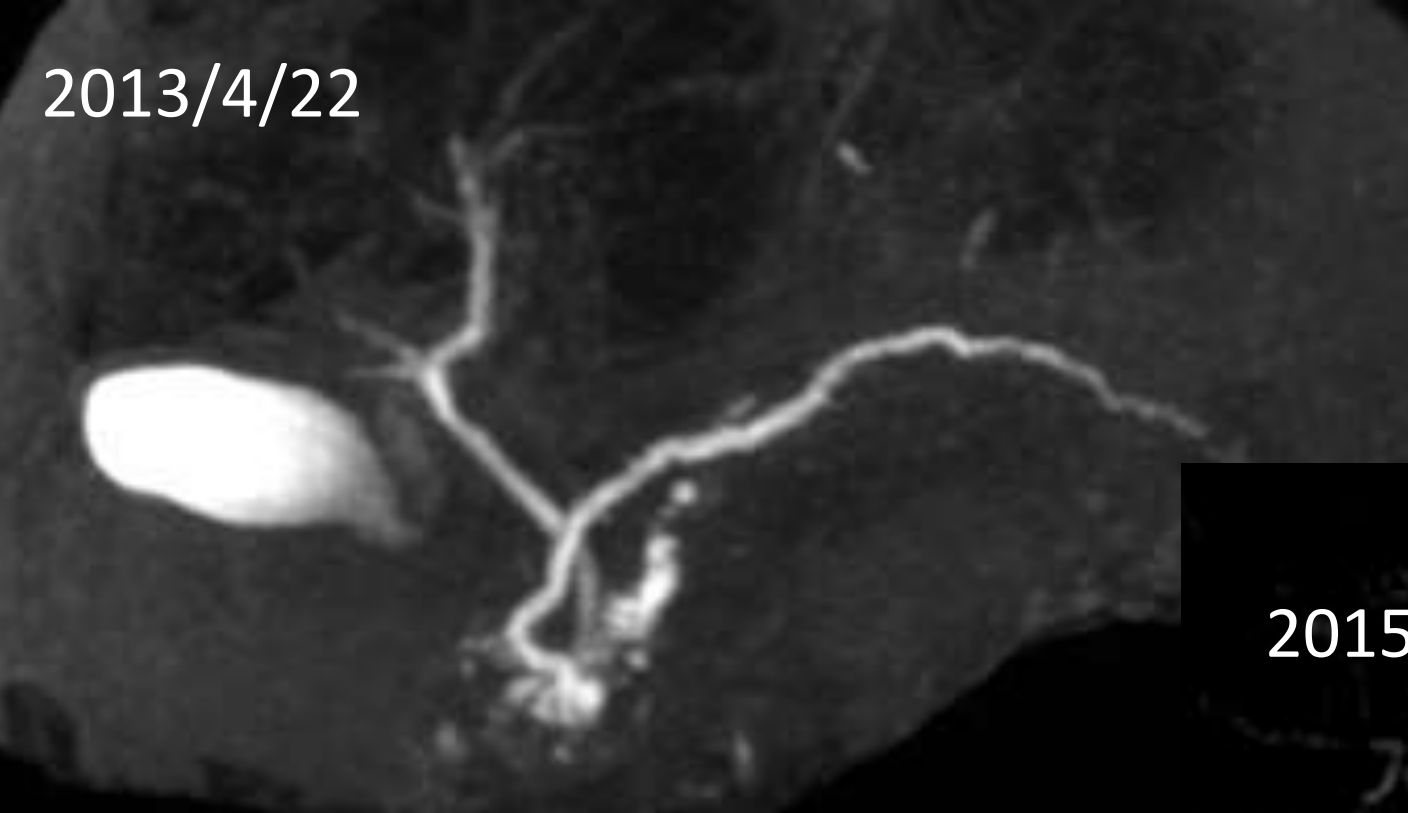




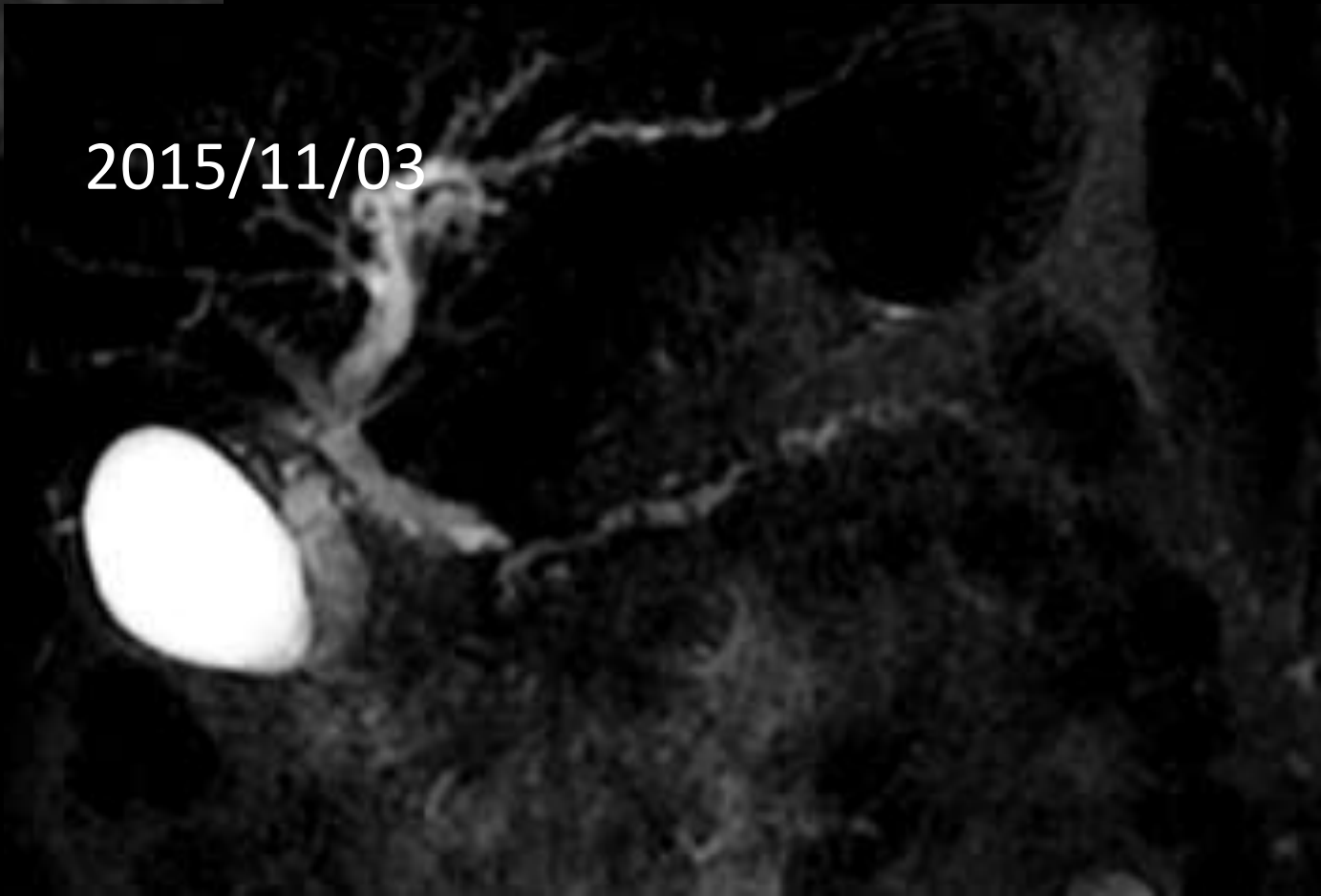
2015/11/1



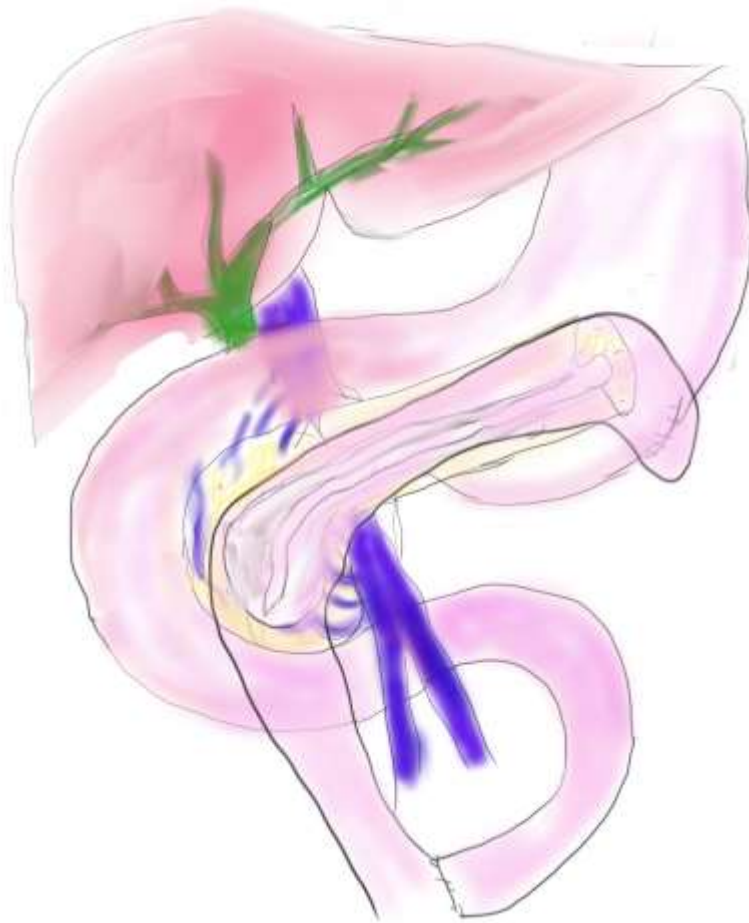
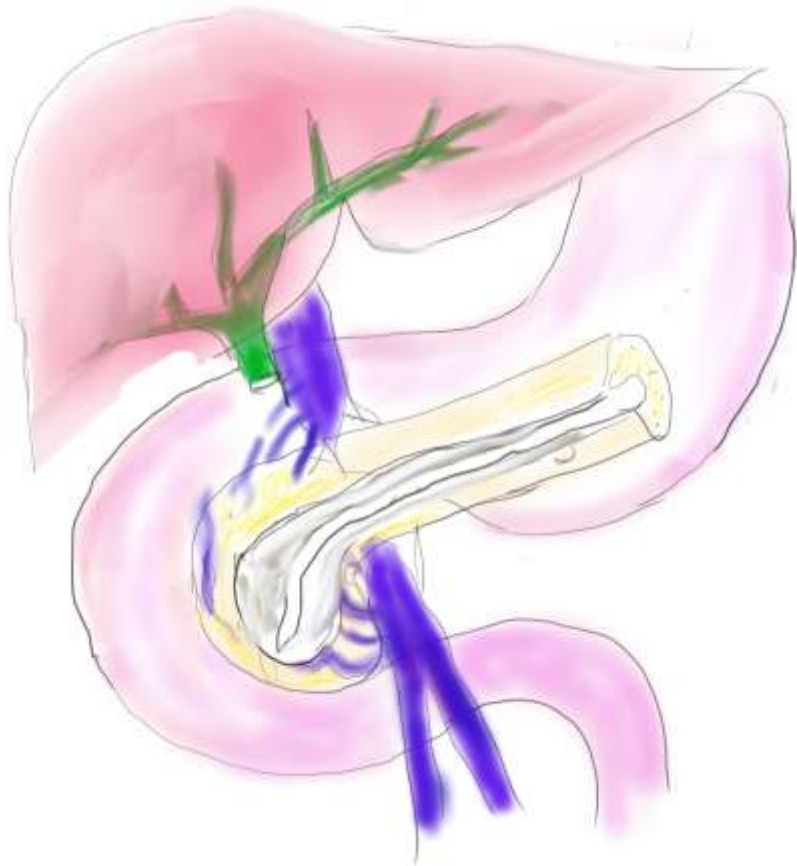
2013/4/22



2015/11/03



# Frey手術、尾側膵切除、胆管十二指腸吻合



手術時間:6:43

出血:3,999g

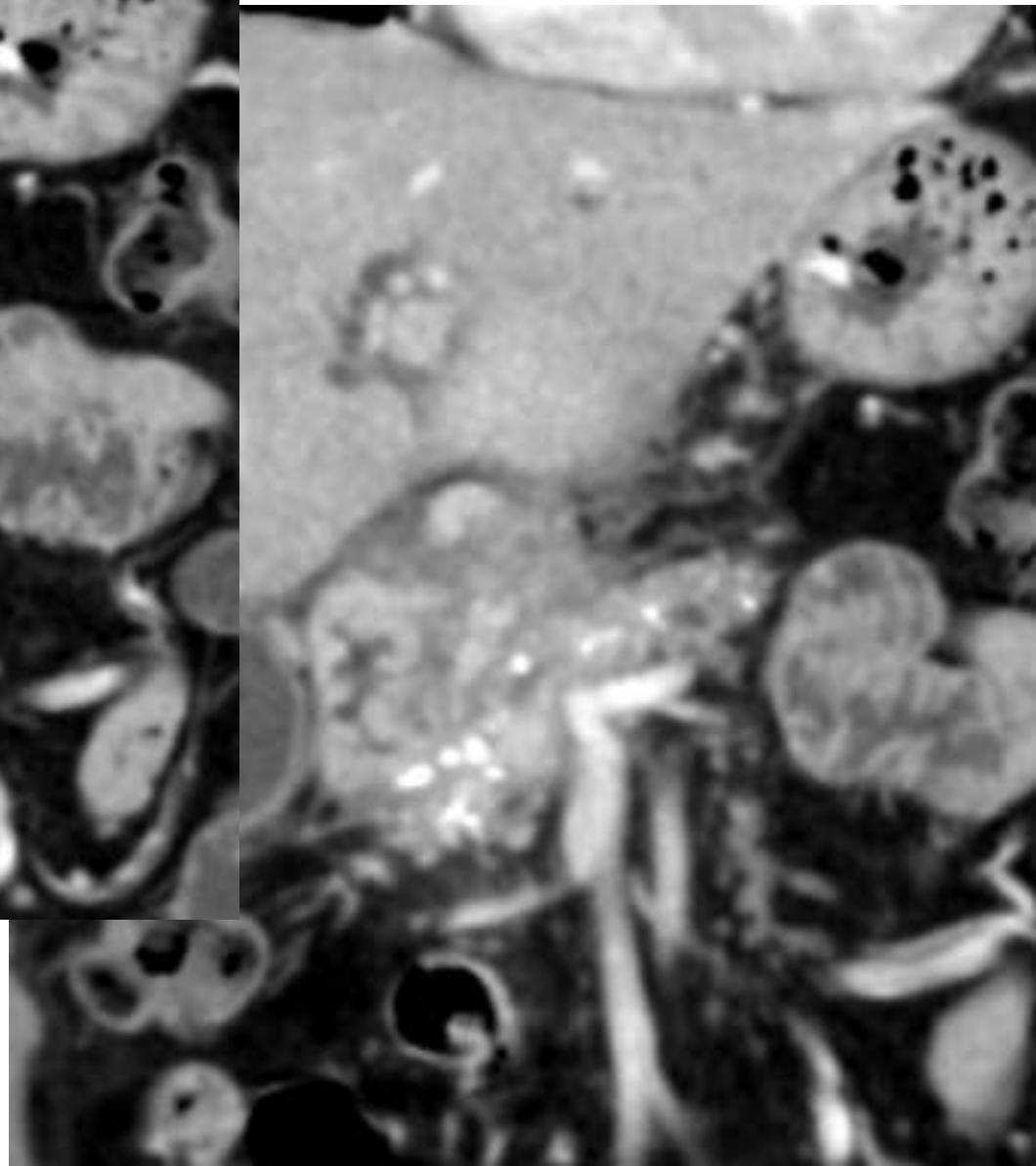
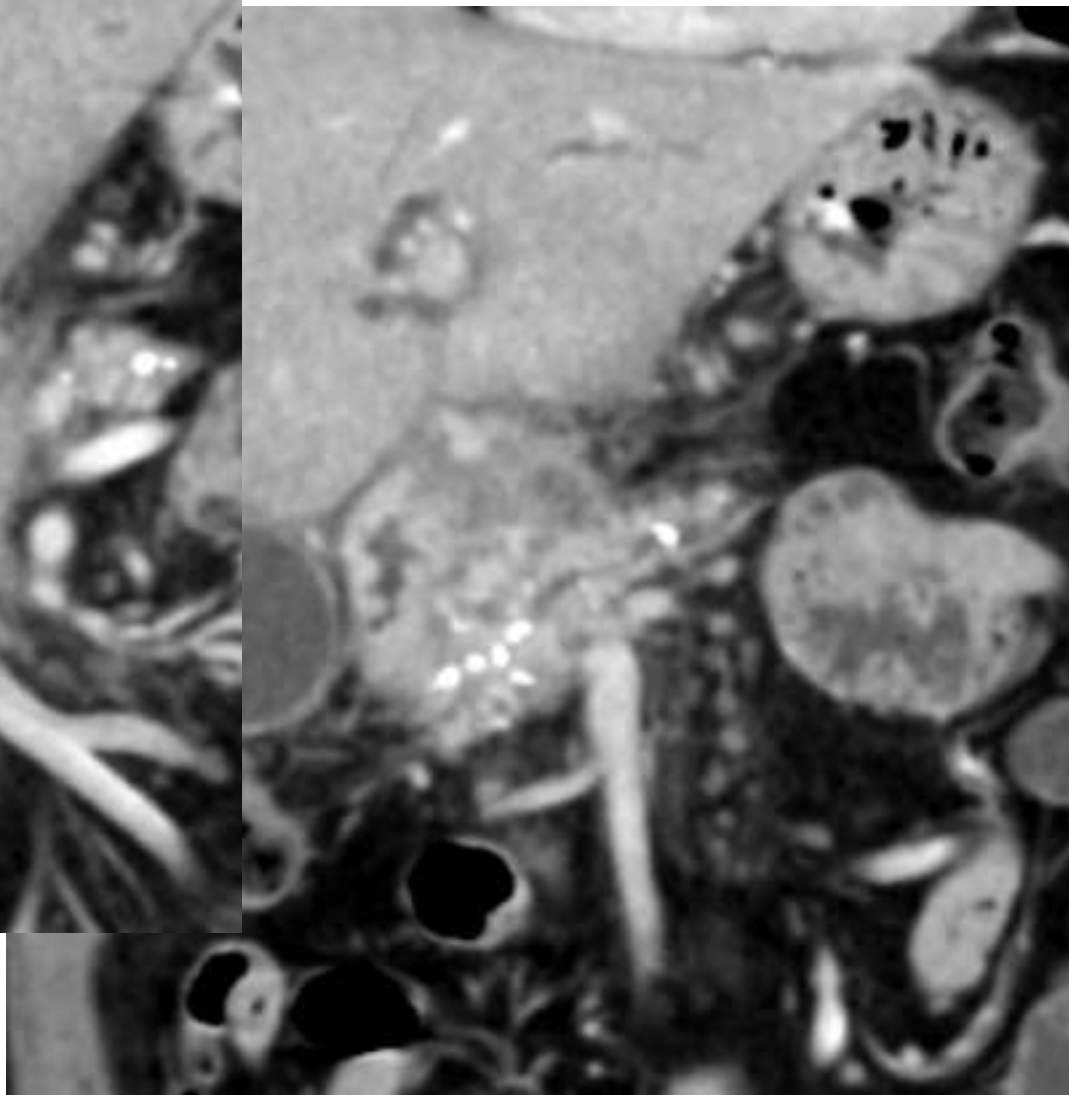
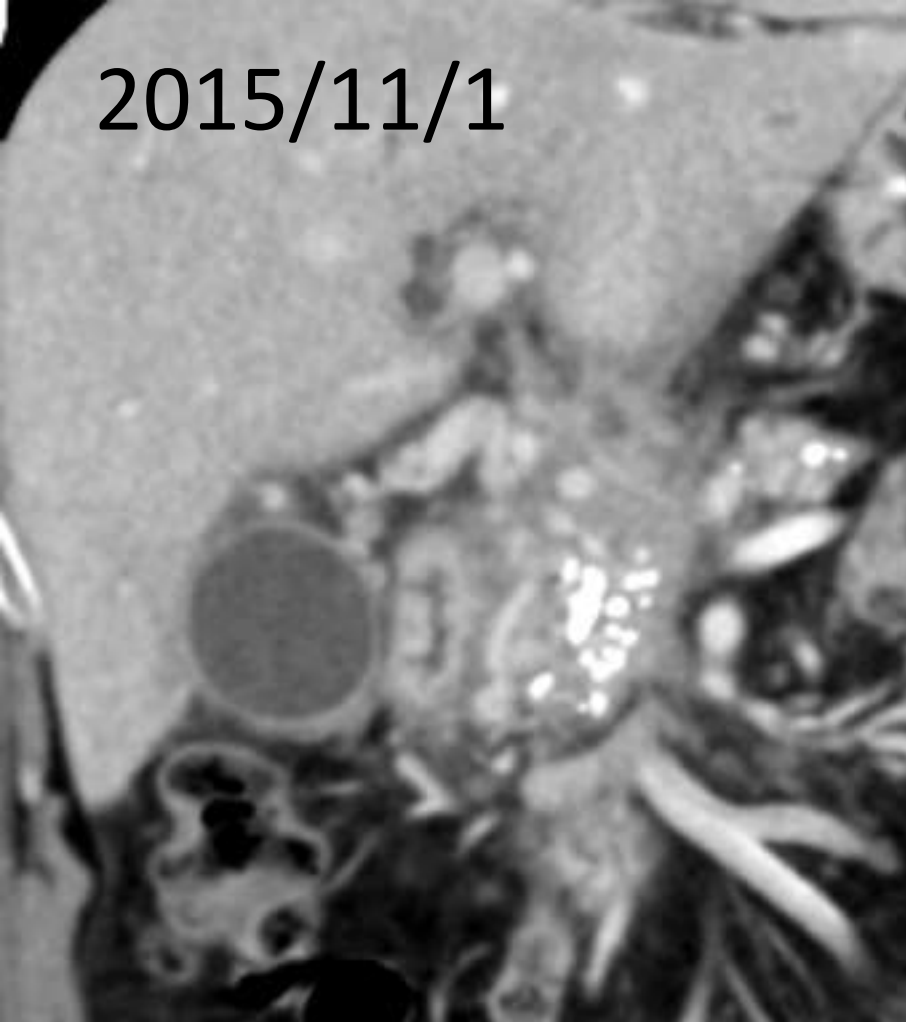
術後在院日数:23日

# 術後経過

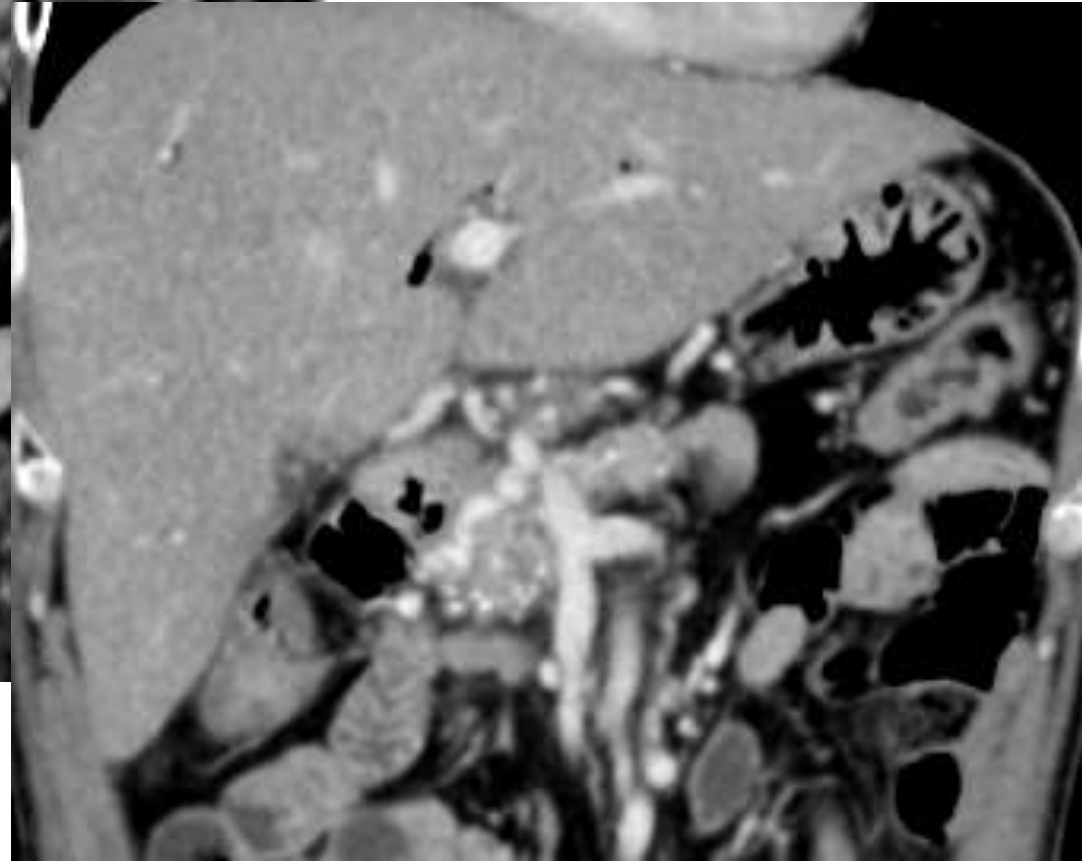
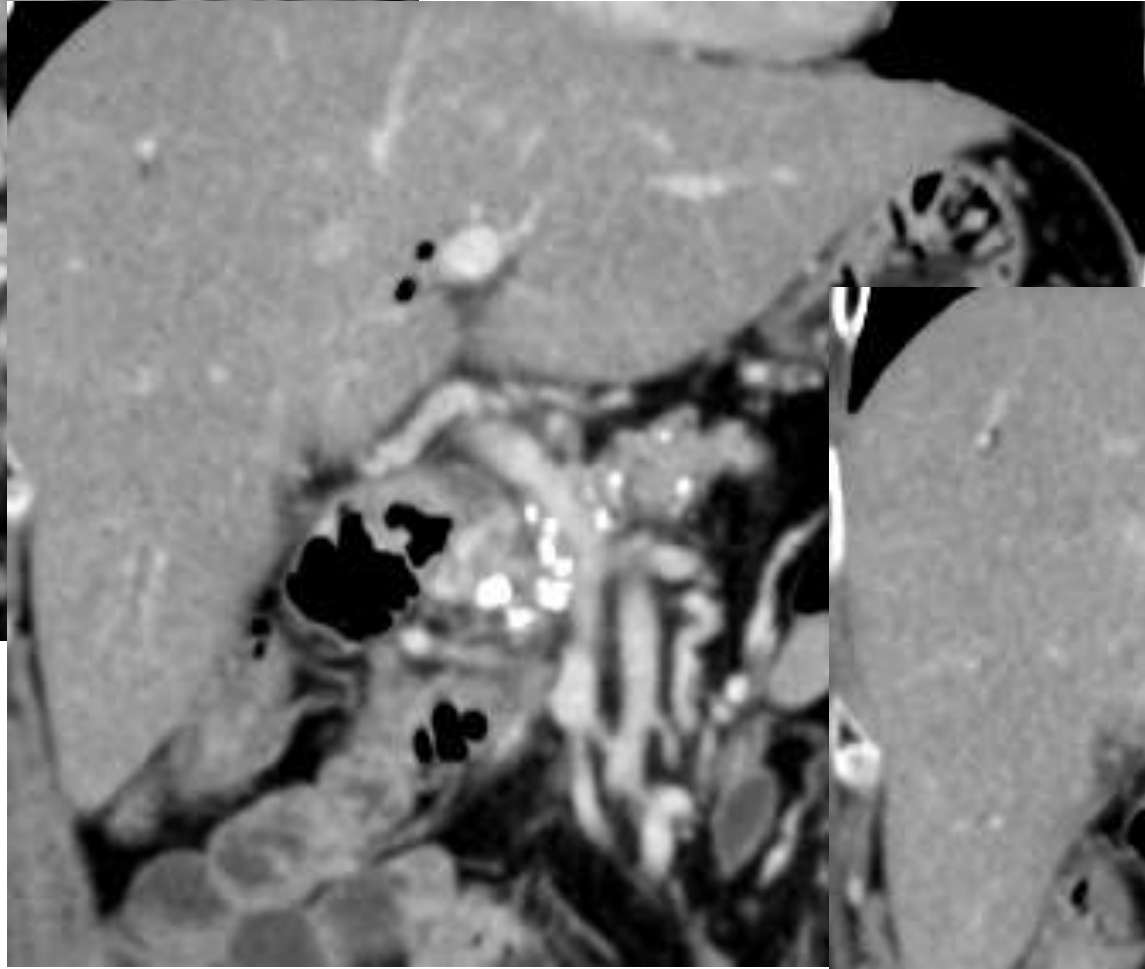
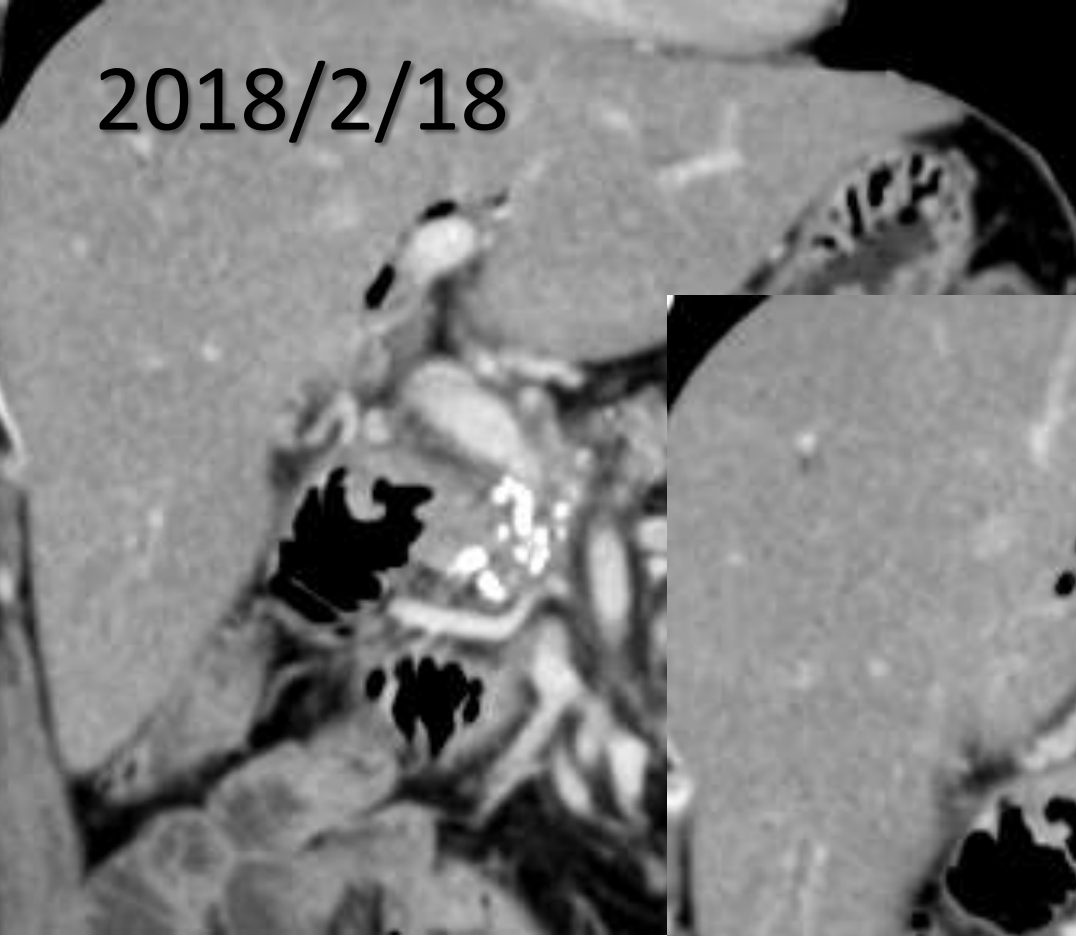
	術前	術後1年	術後2年
痛み (NRS)	8	6	3
HbA1c (%)	5.9	6.0	5.9
Alb (g/dl)	2.9	3.8	4.2
T-chol (mg/dl)	123	158	193
HGB (g/dl)	11.5	13.9	15.3

術後1年目に社会復帰

2015/11/1



2018/2/18



## 症例3-Question C

★外科治療はどの時期に行うべきであったでしょうか？  
(内科的治療が効かなかった場合)

1. 内視鏡治療を実施する前  
0%
2. ERCPによる治療不成功後  
10%
3. EUS下膵管ドレナージ術2カ月後  
16%
4. EUS下膵管ドレナージ術1年後  
72%
5. EUS下膵管ドレナージ術2年後(本症例の通り)  
0%
6. EUS下膵管ドレナージ術を継続  
0%
7. その他  
2%



切実な

## 外科医からのお願い

- ◇内視鏡治療が奏功しない場合は、できるだけ早く外科に紹介してください。
- ◇内視鏡治療やESWLは外科治療へのBridgeにはなりません。
- ◇外科治療が必要と考えられた場合には、内視鏡治療やESWLはせずに紹介してください。